

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

IN RE APPLICATION OF: Satoshi ITO

GAU:

SERIAL NO: New Application

EXAMINER:

FILED: Herewith

FOR: ELECTRONIC CATALOG MAINTENANCE SYSTEM FOR ENABLING OUT-OF-STANDARD
ELECTRONIC CATALOG CHANGES

REQUEST FOR PRIORITY

ASSISTANT COMMISSIONER FOR PATENTS
WASHINGTON, D.C. 20231

SIR:

- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Application Serial Number, filed, is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §120.
- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Provisional Application Serial Number, filed, is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119(e).
- ☒ Applicants claim any right to priority from any earlier filed applications to which they may be entitled pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119, as noted below.

In the matter of the above-identified application for patent, notice is hereby given that the applicants claim as priority:

<u>COUNTRY</u>	<u>APPLICATION NUMBER</u>	<u>MONTH/DAY/YEAR</u>
Japan	11-332038	November 22, 1999

Certified copies of the corresponding Convention Application(s)

- ☒ are submitted herewith
- ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee
- ☐ were filed in prior application Serial No. filed
- ☐ were submitted to the International Bureau in PCT Application Number .
Receipt of the certified copies by the International Bureau in a timely manner under PCT Rule 17.1(a) has been acknowledged as evidenced by the attached PCT/IB/304.
- ☐ (A) Application Serial No.(s) were filed in prior application Serial No. filed ; and
(B) Application Serial No.(s)
- ☐ are submitted herewith
- ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee

Respectfully Submitted,

OBLON, SPIVAK, McCLELLAND,
MAIER & NEUSTADT, P.C.



22850

Tel. (703) 413-3000
Fax. (703) 413-2220
(OSMMN 10/98)

Marvin J. Spivak
Registration No. 24,913
C. Irvin McClelland
Registration Number 21,124

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

JCE008 U.S. PRO
09/716947
11/22/00

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
る事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
in this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

1999年11月22日

出 願 番 号

Application Number:

平成11年特許願第332038号

出 願 人
Applicant(s):

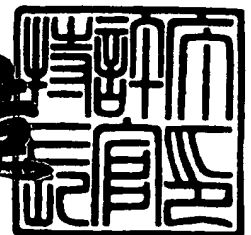
株式会社東芝

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2000年10月 6日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



【書類名】 特許願

【整理番号】 13A99X025

【提出日】 平成11年11月22日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/30
H04L 12/00

【発明の名称】 電子カタログ保守システム及び電子カタログ保守プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体

【請求項の数】 12

【発明者】
【住所又は居所】 神奈川県川崎市幸区柳町 7 0 番地 株式会社東芝 柳町工場内

【氏名】 伊藤 聡

【特許出願人】
【識別番号】 000003078
【氏名又は名称】 株式会社 東芝

【代理人】
【識別番号】 100083806
【弁理士】
【氏名又は名称】 三好 秀和
【電話番号】 03-3504-3075

【選任した代理人】
【識別番号】 100068342
【弁理士】
【氏名又は名称】 三好 保男

【選任した代理人】
【識別番号】 100100712
【弁理士】
【氏名又は名称】 岩▲崎▼ 幸邦

【選任した代理人】

【識別番号】 100100929

【弁理士】

【氏名又は名称】 川又 澄雄

【選任した代理人】

【識別番号】 100108707

【弁理士】

【氏名又は名称】 中村 友之

【選任した代理人】

【識別番号】 100095500

【弁理士】

【氏名又は名称】 伊藤 正和

【選任した代理人】

【識別番号】 100101247

【弁理士】

【氏名又は名称】 高橋 俊一

【選任した代理人】

【識別番号】 100098327

【弁理士】

【氏名又は名称】 高松 俊雄

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 001982

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 電子カタログ保守システム及び電子カタログ保守プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 木構造で表された製品データの製品分類と各製品の属性情報とを一意に識別できる識別子からなる電子カタログの辞書データと、

この辞書データを変更するための編集手段と、

この編集手段による辞書データの変更状況を検出し、辞書データの変更履歴情報を生成する変更状況検出手段と、

この変更状況検出手段によって生成された履歴情報と前記辞書データを格納する格納手段とを有することを特徴とする電子カタログ保守システム。

【請求項 2】 請求項 1 に係る電子カタログ保守システムにおいて、

前記履歴情報のうち冗長な部分を削除して該履歴情報を簡略化するサマリ生成手段を有することを特徴とする電子カタログ保守システム。

【請求項 3】 請求項 1 又は 2 に係る電子カタログ保守システムにおいて、

前記変更状況が所定の規格外である場合に、該規格外の変更に係る辞書データに対応する識別子を新規に発番する識別子更新手段を有することを特徴とする電子カタログ保守システム。

【請求項 4】 請求項 1 乃至 3 に係る電子カタログ保守システムにおいて、

前記変更状況検出手段は、所定の規格によって定められた版の更新と、新規 ID の発生、ID 未使用化発生に基づいて、規格外の変更状況を検出することを特徴とする電子カタログ保守システム。

【請求項 5】 木構造で表された製品データの製品分類と各製品の属性情報とを一意に識別できる識別子からなる電子カタログの辞書データと、

この辞書データを変更するための編集手段と、

この編集手段により編集作業中である電子カタログの辞書データを格納する編集用格納手段と、

前記編集手段により編集作業が完了した電子カタログの辞書データを格納するマスタ用格納手段とを有することを特徴とする電子カタログ保守システム。

【請求項 6】 請求項 5 に係る電子カタログ保守システムにおいて、
所定の品質検査ルールに基づき、前記編集手段によって変更された電子カタログの辞書データを構成する各要素と辞書データ体系の品質の評価を行う品質検査手段を有することを特徴とする電子カタログ保守システム。

【請求項 7】 木構造で表された製品データの製品分類と、各製品の属性情報とを一意に識別できる識別子からなる電子カタログの辞書データを変更するステップと、

辞書データの変更状況を検出し、辞書データの変更履歴情報を生成するステップと、

この生成された履歴情報と前記辞書データを格納するステップと
を有することを特徴とする電子カタログ保守プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 8】 請求項 7 に係る電子カタログ保守プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体において、

前記履歴情報のうち冗長な部分を削除して該履歴情報を簡略化するサマリ生成ステップを有することを特徴とする電子カタログ保守プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 9】 請求項 7 又は 8 に係る電子カタログ保守プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体において、

前記変更状況が所定の規格外である場合に、該規格外の変更に係る辞書データに対応する識別子を新規に発番するステップを有することを特徴とする電子カタログ保守プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 10】 請求項 7 乃至 9 に係る電子カタログ保守プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体において、

所定の規格によって定められた版の更新と、新規 ID の発生、ID 未使用化発生に基づいて、規格外の変更状況を検出するステップを有することを特徴とする電子カタログ保守プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 11】 木構造で表された製品データの製品分類と各製品の属性情報とを一意に識別できる識別子からなる電子カタログの辞書データを変更するス

テップと、

編集作業中である電子カタログの辞書データを格納するステップと、

編集作業が完了した電子カタログの辞書データを格納するステップと

を有することを特徴とする電子カタログ保守プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 1 2】 請求項 1 1 に係る電子カタログ保守プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体において、

所定の品質検査ルールに基づき、前記編集手段によって変更された電子カタログの辞書データを構成する各要素と辞書データ体系の品質の評価を行うステップを有することを特徴とする電子カタログ保守プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、所定の規格に基づいて構成された電子カタログを保守する電子カタログ保守システム及び電子カタログ保守プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

従来、インターネット上で、製品情報を電子的に提供する電子カタログシステムを実装するための国際規格として I S O 1 3 5 8 4 (Parts Library) がある。この I S O 1 3 5 8 4 では電子カタログを辞書データとコンテンツ（カタログデータ）で構成し、これらに統一したデータ構造を与えることで、製品情報の共有・再利用を目指している。

【0 0 0 3】

I S O 1 3 5 8 4 で定義している辞書データでは、図 2 7 に示す例のように、製品分類は「製品クラス」A 0, B 0, B 1, C 0 ～C 3 を単一木構造で関連付けられて階層的に表現されている。各「製品クラス」A 0, B 0, B 1, C 0 ～C 3 はそれぞれ「属性項目」V 0 ～V 6 を持つようになっており、ある「製品ク

ラス」の「属性項目」（例えばB0に属するV0，V1）は下位の「製品クラス」（C0，C1）に継承される。

【0004】

また、ISO13584では、「製品クラス」および「属性項目」は一意に特定できるようそれぞれ「BSUコード (Basic Semantic Unit Code)」とよばれるユニークなID（識別子）をつけるようになっている。なお、「属性項目」は参照のみ可能な「Visible」タイプと実際に値の入力ができる「Applicable」タイプとがある。この「Applicable」タイプは、参照が可能である「Visible」タイプの中から選択するようになっている（例えばC2におけるV0）。

【0005】

ISO13584が電子カタログとしてのフレームワークを提供している一方で、実際の辞書データについての国際標準化も進められており、IEC61360では電気・電子分野での辞書データの上位階層部分、つまり「製品クラス」と「属性項目」に関する一般的な部分の標準化を推進している。これにより、各社の製品カタログ作成者は、IEC61360からの下位展開として独自の詳細な「製品クラス」と「属性項目」を決め、各自のコンテンツを作成することができる。

【0006】

このように作成されたコンテンツを電子カタログの利用者は「製品クラス」の分類階層を辿り、属性値を参照して自分に必要な製品を絞り込んでいき、所望の製品を検索することが可能となる。近年、これらの流れをうけてISO13584に準拠したシステムがいくつか開発されるようになってきている。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】

上述したISO13584では、定義して作られた辞書体系に関する保守の考え方が述べられており、特に辞書の管理についてVersion/Revisionの更新に基づくメカニズムが記述されている。

【0008】

図28にその考え方を示す。図28(a)は、属性項目 (Property) の付随情

報の追加、修正、削除に対し、各種別ごとの対応方法が記述されている。また、図 2 8 (b) は、製品クラス（以後、「クラス」と呼ぶ）の付随情報の追加、修正、削除に対し、各種別ごとの対応方法が記述されている。

【0 0 0 9】

しかしながら、図 2 8 (a) 及び (b) に示した取り決めによると、辞書の修正が非常に制限されており、特に以下のようなケースの変更が発生する場合に対応ができない。

【0 0 1 0】

ケース 1) Visible/Applicable Property の削除

ケース 2) Visible/Applicable Property の変更

ただし、このケース 2) では、「Property の Version UP」イベントは除かれ、また、Visible/Applicable Property の追加は Version up で対応する。

【0 0 1 1】

ケース 3) Super Class の変更のうち、継承する Property が削除されるようなもの

ただし、このケース 3) では、「Super Class の Version UP」イベントは除かれ、また、中間クラスの挿入等の、継承 Property の削除が生じない変更は Version up で対応し、さらに、Preferred Name の変更は Revision up で対応する。

【0 0 1 2】

ケース 4) Visible Property の Name scope の変更

そして、これらのケース 1) ～ 4) は、クラスの階層構造を変更した場合など現実的に頻繁に発生することが予想される。例えば、図 2 9 に示すように、木構造の末端 (E E E) にクラス (F F F) を新規に作成した場合、図 3 0 に示すように、末端クラス (H H H) を削除した場合、図 3 1 に示すように、複数の製品クラス (E E E 及び H H H) を一つの製品クラス (K K K) にマージする場合、図 3 2 ～ 3 5 に示すように、製品クラス (H H H 又は D D D) を移動する場合、図 3 6 及び図 3 7 に示すように、中間クラス (H H H) を生成又は削除する場合が考えられる。

【0 0 1 3】

したがって、このようなケース 1) ~ 4) の場合の対応を I S O 1 3 5 8 4 の枠組みを超えて行えることが実際問題として非常に重要である。この場合、以下のような課題がある。

【 0 0 1 4 】

第一に、一度発番して公開した B S U コードは、辞書の体系から外れ、未使用になっても、レガシシステムからの参照があり得るので永続的に管理する必要がある、削除できないことから、レガシシステムに対応させる必要がある。

【 0 0 1 5 】

第二に、階層構造の変化により、クラスや属性の単体としての定義・内容が同一であっても、別のものとみなされてしまうことになり、その結果、B S U コードの新規発番とこれの未使用化が大量に発生し、コードの管理が非常に困難となることから、B S U コードの新規発番を把握する機能が必要である。

【 0 0 1 6 】

そこで、本発明は上記事情に鑑みて成されたものであり、電子カタログの変更の自由度を担保するとともに、変更された電子カタログデータを従来のシステムにおいても利用可能とし、電子カタログの有用性、汎用性を向上させることのできる電子カタログの保守システム及び電子カタログの保守プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体を提供することを課題とする。

【 0 0 1 7 】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために請求項 1 に係る発明は、木構造で表された製品データの製品分類と各製品の属性情報とを一意に識別できる識別子からなる電子カタログの辞書データと、この辞書データを変更するための編集手段と、この編集手段による辞書データの変更状況を検出し、辞書データの変更履歴情報を生成する変更状況検出手段と、この変更状況検出手段によって生成された履歴情報と前記辞書データを格納する格納手段とを有することを特徴とするものである。

【 0 0 1 8 】

ここで上記所定の規格としては、例えば国際規格である I S O 1 3 5 8 4 (Parts Library) や I E C 6 1 3 6 0 等が挙げられる。又、上記製品分類情報には

、例えば「製品クラス（クラス）」や「属性項目（プロパティ）」があり、さらに上記識別子としては、例えばBSUコードがある。

【0019】

また、上記規格外の変更とは、例えば中間階層の追加や削除、新規な識別子の発番や未使用状態の識別子の発生を要するような木構造の変更等をいう。なお、この変更状況は、例えば例えば、Version/Revision更新、新規識別子（ID）の有無、識別子（ID）の未使用化の有無等に基づいて検出することができる。

【0020】

このような請求項1に係る発明によれば、履歴情報を利用して変更の前後に係る電子カタログを照合することによって、電子カタログ変更の管理を容易にすることができるとともに、規格外の変更を可能とすることによって、電子カタログの変更作業の自由度を向上させることができる。

【0021】

請求項2に係る発明は、請求項1に係る電子カタログ保守システムにおいて、前記履歴情報のうち冗長な部分を削除して該履歴情報を簡略化するサマリ生成手段を有することを特徴とするものである。

【0022】

このような請求項2に係る発明によれば、例えば試行錯誤により繰り返し変更を行うような編集を行った場合などに生じ得る不要な変更処理（結果的に変更箇所がない場合や変更箇所があっても変更の程度が小さい場合等）を履歴情報から削除することによって、変更処理の管理を容易なものとすることができる。

【0023】

請求項3に係る発明は、請求項1又は2に係る電子カタログ保守システムにおいて、前記変更状況が所定の規格外である場合に、該規格外の変更に係る辞書データに対応する識別子を新規に発番する識別子更新手段を有することを特徴とするものである。

【0024】

このような請求項3に係る発明によれば、規格外の変更に係るコンテンツに対し、新たに発番された識別子からのアクセスを可能となり、レガシシステムでの

使用が可能となり、電子カタログの有用性及び汎用性を確保することができる。

【 0 0 2 5 】

請求項 4 に係る発明は、請求項 1 乃至 3 に係る電子カタログ保守システムにおいて、前記変更状況検出手段は、所定の規格によって定められた版の更新と、新規 ID の発生、ID 未使用化発生に基づいて、規格外の変更状況を検出することを特徴とするものである。

【 0 0 2 6 】

このような請求項 4 に係る発明によれば、例えば ISO 1 3 5 8 4 (Parts Library) や IEC 6 1 3 6 0 等の国際規格に準拠した変更状況の管理が可能となり、電子カタログの汎用性をより向上させることができる。

【 0 0 2 7 】

請求項 5 に係る発明は、木構造で表された製品データの製品分類と各製品の属性情報とを一意に識別できる識別子からなる電子カタログの辞書データと、この辞書データを変更するための編集手段と、この編集手段により編集作業中である電子カタログの辞書データを格納する編集用格納手段と、前記編集手段により編集作業が完了した電子カタログの辞書データを格納するマスタ用格納手段とを有することを特徴とするものである。

【 0 0 2 8 】

このような請求項 5 に係る発明によれば、電子カタログの完成度に応じて格納手段を選択することによって、変更作業時のマイナーな変更と正式バージョンアップとして公開する時の変更を区別することが可能となり、高品質の辞書を提供することを実現できる。

【 0 0 2 9 】

請求項 6 に係る発明は、請求項 5 に係る電子カタログ保守システムにおいて、所定の品質検査ルールに基づき、前記編集手段によって変更された電子カタログの辞書データを構成する各要素と辞書データ体系の品質の評価を行う品質検査手段を有することを特徴とするものである。

【 0 0 3 0 】

このような請求項 6 に係る発明によれば、辞書体系品質検査機能で、変更され

た電子カタログを構成する各要素と電子カタログ辞書体系の品質の評価を行うことにより、電子カタログの質の向上を図ることができる。

【0 0 3 1】

請求項 7 に係る発明は、木構造で表された製品データの製品分類と、各製品の属性情報とを一意に識別できる識別子からなる電子カタログの辞書データを変更するステップと、辞書データの変更状況を検出し、辞書データの変更履歴情報を生成するステップと、この生成された履歴情報と前記辞書データを格納するステップとを有することを特徴とするものである。

【0 0 3 2】

請求項 8 に係る発明は、請求項 7 に係る電子カタログ保守プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体において、前記履歴情報のうち冗長な部分を削除して該履歴情報を簡略化するサマリ生成ステップを有することを特徴とするものである。

【0 0 3 3】

請求項 9 に係る発明は、請求項 7 又は 8 に係る電子カタログ保守プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体において、前記変更状況が所定の規格外である場合に、該規格外の変更に係る辞書データに対応する識別子を新規に発番するステップを有することを特徴とするものである。

【0 0 3 4】

請求項 1 0 に係る発明は、請求項 7 乃至 9 に係る電子カタログ保守プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体において、所定の規格によって定められた版の更新と、新規 I D の発生、I D 未使用化発生に基づいて、規格外の変更状況を検出するステップを有することを特徴とするものである。

【0 0 3 5】

請求項 1 1 に係る発明は、木構造で表された製品データの製品分類と各製品の属性情報とを一意に識別できる識別子からなる電子カタログの辞書データを変更するステップと、編集作業中である電子カタログの辞書データを格納するステップと、編集作業が完了した電子カタログの辞書データを格納するステップとを有することを特徴とするものである。

【 0 0 3 6 】

請求項 1 2 に係る発明は、請求項 1 1 に係る電子カタログ保守プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体において、所定の品質検査ルールに基づき、前記編集手段によって変更された電子カタログの辞書データを構成する各要素と辞書データ体系の品質の評価を行うステップを有することを特徴とするものである。

【 0 0 3 7 】

このような請求項 7 乃至 1 2 に係る発明によれば、例えばパーソナルコンピュータ等の汎用コンピュータに、コンピュータ読み取り可能な記録媒体を介して電子カタログ保守プログラムをインストールすることによって、上述した作用効果を奏する有用な電子カタログ保守システムを容易に実現することができる。

【 0 0 3 8 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の電子カタログ保守システムの実施形態を図面に従い説明する。図 1 は本実施形態に係る電子カタログ保守システムの概略構成を示す機能ブロックで示したものである。

【 0 0 3 9 】

(電子カタログ保守システムの全体構成)

図 1 に示すように、本実施形態に係る電子カタログ保守システムは、辞書エディタ 1 と、BSUコード変更管理機能 2 と、辞書変更状況検出機能 5 と、辞書体系品質検査機能 6 と、編集用DB管理部 7 と、マスタDB管理部 8 と、電子カタログ辞書編集用DB 14 と、BSUコード変更管理編集用DB 16 と、電子カタログ辞書マスタDB 20 と、BSUコード変更管理マスタDB 22 とから概略構成される。

【 0 0 4 0 】

前記辞書エディタ 1 は、電子カタログ辞書データ 10 の新規作成又は編集を行うものである。本実施形態においてこの辞書エディタ 1 は、新規に作成、或いは編集した電子カタログ辞書データ 10 を電子カタログ辞書編集用DB 14 や電子カタログマスタDB 20 に保存したり、又はこれら電子カタログ辞書編集用DB

14や電子カタログマスタDB20から呼び出して編集したりすることができる。

【0041】

前記BSUコード変更管理機能2は、サマリ生成機能3と、BSUコード更新機能4を有している。サマリ生成機能3は、電子カタログ辞書データ10の保存に際して、BSUコード変更データ9の冗長な部分を削除し、変更のサマリとするものである。BSUコード更新機能4は、生成されたサマリとBSUコード発番ルール11に基づき、電子カタログ辞書データ10を更新するものである。

【0042】

前記辞書変更状況検出機能5は、電子カタログ辞書データ10が辞書エディタ1により編集を受けて、BSUコードにどのような影響が発生するかを変更種別識別ルール12に基づいて検出し、BSUコード変更データ9を生成するものである。

【0043】

前記辞書体系品質検査機能6は、更新された電子カタログ辞書データ10の品質について品質検査ルール13に基づき検査を行い、辞書体系品質データ26を生成するものである。

【0044】

編集用DB管理部7は、電子カタログ辞書編集用DB14及びBSUコード変更管理編集用DB16に対するデータの入出力を管理するものである。また、マスタDB管理部8は、電子カタログ辞書マスタDB20及びBSUコード変更管理マスタDB22に対するデータの入出力を管理するものである。

【0045】

そして、かかる編集用DB管理部7により、編集等によって更新された電子カタログ辞書データ10は、電子カタログ辞書編集用DB14に保存される。また、サマリとなったBSUコード変更データ9及び辞書体系品質データ26も同様に、編集用DB管理部7により、BSUコード変更管理編集用DB16にそれぞれ編集用BSUコード変更データ9と編集用の辞書体系品質データ19として保存される。これらの各データの保存に際し、編集用DB管理部7は、辞書のリビ

ジョン管理を行うためにこれらのデータの関係を記述したrevision treeデータ 18を生成・管理する。

【0046】

電子カタログ辞書編集用DB14に保存された電子カタログ辞書データ10のうち、公開版として用いられる完成度の高いデータは、マスタDB管理部8に送られ、マスタの電子カタログ辞書データ21として電子カタログ辞書マスタDB20に管理される。同時に、対応する編集用BSUコード変更データ9と編集用の辞書体系品質データ19もそれぞれマスタのBSUコード変更データ23、マスタの辞書体系品質データ25としてBSUコード変更管理マスタDB22に保存される。これらの各データの保存に際し、マスタDB管理部8は、辞書のバージョン管理を行うためにこれらのデータの関係を記述したversion treeデータ24を生成・管理する。

【0047】

(電子カタログ辞書データの構成)

次いで、電子カタログ辞書編集用DB14に保存され、辞書エディタ1によって編集される電子カタログ辞書データ10の内容について説明する。図2～図4は、電子カタログ辞書データ10の構成を例示する表である。

【0048】

図2は、電子カタログ辞書データ10におけるクラスデータの一例を示しており、一行が一つのクラスの情報を表している。このうち、クラスを内的に識別するIDであるCID、クラスのBSUコードを記述するBSU、クラスの階層構造上の親に相当するクラスのCIDを記述する親クラスCIDは、本実施形態においては、辞書エディタ1やBSUコード変更管理機能2によって自動的に付番される。なお、本実施形態にかかる電子カタログ辞書データ10中には、クラスの名称をあらわすPreferred Nameを含めたISO13584に定めるクラスの付随情報が含まれ、これらはユーザが入力する。また、この電子カタログ辞書データ10中の「データの品質レベル」は、辞書体系品質検査機能6がその値を書き込む。

【0049】

図3は、電子カタログ辞書データ10における属性データの一例を示しており、一行が一つの属性の情報をあらわしている。このうち、属性を内的に識別するIDであるPID、属性のBSUコードを記述するBSUは辞書エディタ1やBSUコード変更管理機能2によって自動的に付番される。また、属性の名称をあらわすPreferred Nameを含めた、ISO13584に定まる属性の付随情報があり、これらはユーザが入力する。またデータの品質レベルには辞書体系品質検査機能6がその値を書き込む。

【0050】

図4は、電子カタログ辞書データ10におけるクラスー属性関係データの一例を示しており、一行が一つの属性とクラスの関係の情報をあらわしている。このうち、CID_scopeには属性が定義されているクラス、Visibleにはこの属性が参照できるクラスのリスト、Applicableにはこの属性を適用できるクラスのリストが記述されている。

【0051】

(BSUコード変更データの構成)

次いで、辞書エディタ1による電子カタログ辞書データ10の編集によって生成され、BSUコード変更管理編集用DB16に保存されるBSUコード変更データ9の内容について説明する。図5及び図6は、BSUコード変更データ9の構成を例示する表である。

【0052】

図5は、BSUコード変更データ9におけるクラスのBSUコード変更データの一例を示しており、一行が一つのBSUコードの変更イベントの情報をあらわしている。このうちStatusはイベントの種類をあらわしており4つの値(VUP、RUP、NEW、OOD)をとる。VUPとRUPは、図28に示されたISO13584のVersion/Revision管理の規定に準じた変更イベントをそれぞれ表している。また、NEWは変更イベントの結果、BSUコードを新規に発生する必要があるものを示している。

【0053】

上記OODは変更イベントの結果、BSUコードが辞書体系から外れ、未使用

化する必要があるものを示す。本データには変更の主体となったクラスのC I D、B S U、及びクラスの世代交代の関係を示したRefer_toとSame_asがある。この2つの関係を用いると、すでに辞書の体系から外れて未使用化となったB S Uコードで辞書にアクセスする場合でも、世代交代して登録されているクラスにアクセスすることができる。

【0 0 5 4】

図6は、B S Uコード変更データ9における属性のB S Uコード変更データの一例示しており、一行が一つのB S Uコードの変更イベントの情報をあらわしている。このうちStatusはイベントの種類をあらわしており4つの値（V U P、R U P、N E W、O O D）をとる。V U PとR U Pは図27に示されたI S O 1 3 5 8 4のVersion/Revision管理の規定に準じた変更イベントをそれぞれあらわしている。

【0 0 5 5】

なお、上記N E Wは、変更イベントの結果B S Uコードを新規に発生する必要があるもの、また、O O Dは、変更イベントの結果B S Uコードが辞書体系から外れ、未使用にする必要があるものを示す。本データには変更の主体となった属性のP I D、B S U、および、クラスの世代交代の関係を示したRefer_toとSame_asがある。この2つの関係を用いると、すでに辞書の体系から外れて未使用化となったB S Uコードで辞書にアクセスする場合でも、世代交代して登録されている属性にアクセスすることができる。

【0 0 5 6】

(version_treeデータの構成)

次に、B S Uコード変更管理編集用D B 1 6やB S Uコード変更管理マスタD B 2 2に保存されるversion_Treeデータについて説明する。

【0 0 5 7】

図7は、図1におけるversion_Treeデータ24及びrevision_Treeデータ18を表現するためのモデルをE X P R E S S－Gで記述したものであり、矩形で表現されたものはエンティティ、線で表現されたものは、リレーションを表すE Rモデルとなっている。

【 0 0 5 8 】

同図において、DV_Versionエンティティは、マスタ電子カタログ辞書データ 2 1、Version_Historyエンティティは、マスタBSUコード変更データ 2 3、DB_Revisionエンティティは、編集用の電子カタログ辞書データ 1 0、Revision_Historyエンティティは、編集用のBSUコード変更データ 9、DB_qualityエンティティは、編集用の辞書体系品質データ 1 9 及びマスタの辞書体系品質データ 2 5 を表現したものである。

【 0 0 5 9 】

図 8 は、version_treeデータ 2 4 及びrevision_treeデータ 1 8 のデータ記述例であり、図 7 に示したモデルに基づいて記述されており、各データのバージョン管理のための情報に用いられる。このうち、範囲 3 0 で囲まれた部分がversion_treeデータ 2 4、範囲 3 1 で囲まれた部分がrevision_treeデータ 1 8 を表している。

【 0 0 6 0 】

(辞書体系品質データの構成)

次いで、辞書体系品質検査機能 6 によって生成される辞書体系品質データ 2 6 の内容について説明する。

【 0 0 6 1 】

図 9 は、辞書体系品質データ 2 6 のデータの一例を示しており、クラス、属性及び辞書自体の全体からみた品質評価値が記述される。この値は、辞書体系品質検査機能 6 が電子カタログ辞書データ 1 0 およびBSUコード変更データ 9 を品質検査ルール 1 3 に基づいて評価し、計算される。

【 0 0 6 2 】

(電子カタログ保守システムによる処理)

以上説明した構成の本実施形態に係る電子カタログ保守システムによる電子カタログの保守は以下のようにして行われる。図 1 0 は、本実施形態に係る電子カタログ保守システムが行う全体の処理を示すフローチャートである。

【 0 0 6 3 】

同図に示すように、辞書エディタ 1 が起動されると (S 1)、先ず編集される

電子カタログ辞書データが新規のものであるか、或いは既存のものであるかを判断（入力）する（S 2）。そして、電子カタログ辞書を新規に作成する場合であれば S 3 と S 4 の処理によって新規辞書を生成する処理を行い、既にあるデータを読み込む場合には、それが電子カタログ辞書編集用 DB 1 4 に保存されているものか、電子カタログ辞書マスタ DB 2 0 に保存されているものであるかを判断し（S 5）、電子カタログ辞書編集用 DB 1 4 から読み込む場合は S 1 1 の処理、電子カタログ辞書マスタ DB 2 0 から読み込む場合は S 6～S 9 の処理を行う。

【0 0 6 4】

次いで、このようにして作成或いは読み込まれた電子カタログ辞書データ 1 0 は、S 1 2 の編集処理により作成・変更を受ける。その後、S 1 3 の処理によって、その変更の内容をチェックする。即ち、辞書変更状況検出機能 5 によって辞書エディタ 1 による編集内容を変更種別識別ルール 1 2 と照合することにより、編集内容が RevUP 変更、VerUP 変更又は NewBSU 変更のいずれに該当するのかを検査し、その検査結果を BSU コード変更データ 9 として生成する。

【0 0 6 5】

編集した電子カタログ辞書データ 1 0 を保存したい場合、S 1 6 の処理によるサマリの生成と S 1 7 の処理による品質検査を経て、電子カタログ辞書編集用 DB 1 4 に保存される。さらに、完成度の高い電子カタログ辞書データ 1 0 を、マスタデータとして保存したい場合は、S 2 0 の処理により辞書の品質を確認し、S 2 2 の処理による BSU コードの発番や Version/Rivision の更新を行ったのち、電子カタログ辞書マスタ DB 2 0 に保存される（S 2 3）。

【0 0 6 6】

以後、各処理の詳細について説明を行う。図 1 1 は、図 1 0 中における S 3 の処理、即ち新規に電子カタログ辞書データ 1 0 を作成する処理においてマスタ DB 管理部 8 が行う処理のフローチャートを示したものである。

【0 0 6 7】

同図に示すように、上記 S 3 の処理では、図 7 に示したモデルに基づいた version_tree データ 2 4 を S 3 1～S 3 4 の処理により生成・保存し、必要な情報を S 3 5 の処理により編集用 DB 管理部 7 に送信した後、S 3 6 の処理により空の

電子カタログ辞書データ 21、S3 の処理により空のBSUコード変更データ 23 を生成・保存する。

【0068】

図12は、図10中におけるS4の処理、即ち新規に電子カタログ辞書データ10を作成する処理において編集用DB管理部7が行う処理のフローチャートを示したものである。

【0069】

同図に示すように、S40の処理によりマスタDB管理部8から必要な情報を受け取り、S41～S45の処理によってrevision treeデータ18の生成、保存し、S46の処理により空の電子カタログ辞書データ10、S47の処理により空のBSUコード変更データ9を生成・保存する。同時に、S48～S49の処理により、空の電子カタログ辞書データ10と空のBSUコード変更データ9を生成する。

【0070】

図13は、図10中におけるS13の処理、即ち編集された電子カタログ辞書データ10の変更内容チェック処理において辞書変更状況検出機能5が行う処理のフローチャートを示したものである。

【0071】

同図に示すように、S100の処理で辞書変更イベントを図14に示す変更種別識別ルール12に基づいて検出し、S101の処理で分別し、イベントの種類がクラスに関するものか属性に関するものかに対応して、以降のS102～S118の処理を行い、BSUコード変更データ9を生成する。

【0072】

図14は、図13の処理で使用されるルールを記述した処理変更種別識別ルール12のデータの一例を示したものである。

【0073】

同図に示すように、この処理変更種別識別ルール12には、製品クラスの変更と属性の変更とに大別されるとともに、各変更がRevisionUP、VersionUP或いはNewBSU生成のいずれに該当するのかについての判別条件及び各種別に応じた処理

方法が記述されている。なお、この判別条件及び処理方法については、本実施形態では I F-T H E N 形式で記述されているが、他の方法で記述してもかまわない。

【0074】

そして、かかる処理変更種別識別ルール 12 による判別の結果、BSUコード変更データ 9 の変更がクラスに関するものであるときには、その変更がRevsionUPなのかVersionUPなのか或いはNewBSUなのか、さらには未使用となるクラスが発生しているかについて照合し、適応されるルールに従ってBSUコード変更データ 9 を変更する。BSUコード変更データ 9 の変更が属性に関するものであるときも、同様に適用ルールを照合する。

【0075】

図 15 は、図 10 の S 16 の処理においてサマリ生成機能 3 がクラスデータに対して行う処理のフローチャートを示したものである。ここでは、B S Uコード変更データ 9 に記述されている各イベントのStatusとB S Uの発番状況によって処理を分別している。この処理により、編集作業の中から冗長な操作を取り除くことができ、B S Uコードの変更を含む有意義な変更のみを抽出できる。

【0076】

なお、図 15 中に表された記号について、StatusはクラスB S Uコード変更データの「Status」の属性を示し、B S UはクラスB S Uコード変更データの「B S U」の属性を示し、CIDはクラスB S Uコード変更データの「CID」の属性を示し、Same_asはクラスB S Uコード変更データの「Same_as」の属性を示し、Refer_toはクラスB S Uコード変更データの「Refer_to」の属性を示すものであり、A.Statusは、クラスB S Uコード変更データであるAの「Status」の属性値を示すものである。

【0077】

また、各記号に付されたアルファベットについて、RはクラスのB S Uコード変更データ最後尾のデータを示し、XはCIDの値がR.Refer_toの値と等しいようなクラスのB S Uコード変更データを示し、SはR.CIDの値の親（上位）クラスのCIDを持ち、Statusの値が”NEW”を満たすB S Uコード変更データを示し、YはSta

tusの値が” NEW” であり、CIDの値がR.CIDの値と等しいようなクラスのBSUコード変更データを示す。ZはStatusの値が” 00D” であり、Refer_toの値がY.CIDの値と等しいようなクラスのBSUコード変更データを示し、TはStatusの値が” VUP” 又は” RUP” でCIDの値がR.CIDの値と等しいようなクラスのBSUコード変更データを示し、KはStatusの値がR.Statusと等しく、且つCIDの値がR.CIDの値と等しいようなクラスのBSUコード変更データを意味する。

【 0 0 7 8 】

そして、先ずクラスに関するBSUコード変更データを読み込み（S 2 0 1）、最後尾のデータRを検出し（S 2 0 3）、データRが存在しないときは処理を終了し、データRが存在するときは、S 2 0 4以降の処理を行う。

【 0 0 7 9 】

S 2 0 4以降の処理において、先ず、R.Statusの値が00Dであるか否かを判断し（S 2 0 4）、R.Statusが00Dであれば、次いで、R.BSUの値がNULLであるか否かを判断する（S 2 0 5）。

【 0 0 8 0 】

このS 2 0 5でR.BSUの値がNULLであると判断した場合には、Y.Statusの値がNEWであってY.CIDの値がR.CIDの値と等しくなるYを求め、次いでZ.Statusの値が00DであってZ.Refer_toの値がY.CIDの値と等しくなるZを求め、続いてX.Statusの値がNEWであってX.CIDの値がR.Refer_toの値と等しくなるXを求める（S 2 0 9～S 2 1 1）。そして、このようなXやZが存在するか否かについて判断する（S 2 1 2、S 2 1 3及びS 2 1 5）。そして、存在するXやZの組み合わせによってZ.Refer_toにNULLを代入したり（S 2 1 4）、R.CIDをZ.CIDで置換してX.Refer_toにX.CIDを代入したり（S 2 1 6及びS 2 1 7）、R.CIDを削除した後（S 2 1 8）、T.Status_（”VUP”or”RUP”）であってT.CID=R.CIDを満たすTを全て求め（S 2 1 9）、R,Y,Tを削除する。

【 0 0 8 1 】

S 2 0 5でR.BSUの値がNULLでないと判断した場合には、X.Statusの値がNEWであって、X.CID=R.Refer_toを満たすXを求め（S 2 0 7）、そのようなXが存在しないときには、R.CIDの親クラスSを求めてS.CIDをR.Refer_toとする。

【 0 0 8 2 】

一方、上記 S 2 0 4 において、R.Statusの値が00Dではないと判断した場合には、R.Statusの値がNEWであるか否かを判断し（S 2 2 1）、NEWでないときには、K .Status=R.Statusであって、K.CID=R.CIDを満たすKを求めた後（S 2 2 2）、Kを削除し（S 2 2 3）、R.BSU=NULLが成立するか否かについて判断し（S 2 2 4）、成立するときにはRを削除する（S 2 2 5）。

【 0 0 8 3 】

以上のようにしてRを求め、この求められたRのデータを直前のデータと差し替えて（S 2 2 6）、ループ処理によって次の処理を開始する。

【 0 0 8 4 】

図 1 6 は、図 1 0 の S 1 6 の処理においてサマリ生成機能 3 が属性データに対して行う処理のフローチャートを示したものであり、図 1 0 と同様に B S U コード変更データ 9 に記述されている各イベントのStatusと B S U の発番状況によって処理を分別している。この処理により、編集作業の中から冗長な操作、たとえば、新規作成を行ったが、思い直して削除したクラスに関する変更などを取り除くことができ、B S U コードの変更を含む有意義な変更のみを抽出できる。

【 0 0 8 5 】

なお、図 1 6 中の記号について、PIDは、属性 B S U のコード変更データである A の「PID」の属性であり、A.PIDは属性 B S U コード変更データである A の「PID」の属性値を示すものである。また、各記号に付されたアルファベットについて、Rは属性の B S U コード変更データ最後尾のデータを示し、XはStatusの値が” NEW” であり、PIDの値がR.Refer_toの値と等しいような属性の B S U コード変更データを示し、YはStatusの値が” NEW” であり、PIDの値がR.PIDの値と等しいようなクラスの B S U コード変更データを示す。ZはStatusの値が” 00D” であり、Refer_toの値がY.PIDの値と等しいような属性の B S U コード変更データを示し、TはStatusの値が” VUP” 又は” RUP” でPIDの値がR.PIDの値と等しいような属性の B S U コード変更データを示し、KはStatusの値がR.Statusと等しく、且つPIDの値がR.PIDの値と等しいような属性の B S U コード変更データを意味する。

【0086】

これについて詳述すると、先ず属性に関するBSUコード変更データを読み込み（S301）、最後尾のデータRを検出し（S303）、データRが存在しないときは処理を終了し、データRが存在するときは、S304以降の処理を行う。

【0087】

S304以降の処理において、先ず、R.Statusの値が00Dであるか否かを判断し（S304）、R.Statusが00Dであれば、次いで、R.BSUの値がNULLであるか否かを判断する（S305）。

【0088】

このS305でR.BSUの値がNULLであると判断した場合には、Y.Statusの値がNEWであってY.PIDの値がR.PIDの値と等しくなるYを求め、次いでZ.Statusの値が00DであってZ.Refer_toの値がY.PIDの値と等しくなるZを求め、続いてX.Statusの値がNEWであってX.PIDの値がR.Refer_toの値と等しくなるXを求める（S306～S308）。そして、このようなXやZが存在するか否かについて判断する（S309、S310及びS312）。

【0089】

その後、存在するXやZの組み合わせによってZ.Refer_toにNULLを代入したり（S311）、R.PIDをZ.PIDで置換してX.Refer_toにX.PIDを代入したり（S313及びS314）、R.PIDを削除したりした後（S315）、T.Status_("VUP"or"RUP")であってT.PID=R.PIDを満たすTを全て求め（S316）、R,Y,Tを削除する（S317）。

【0090】

一方、上記S304において、R.Statusの値が00Dではないと判断した場合には、R.Statusの値がNEWであるか否かを判断し（S318）、NEWでないときには、K.Status=R.Statusであって、K.PID=R.PIDを満たすすべてのKを求めた後（S319）、Kを削除し（S320）、R.BSU=NULLが成立するか否かについて判断し（S321）、成立するときにはRを削除する（S322）。

【0091】

以上のようにしてRを求め、この求められたRのデータを直前のデータと差し替

えて（S 3 2 3）、ループ処理によって次の処理を開始する。なお、上記 S 3 0 5 で R.BSU の値が NULL でないと判断した場合、及び上記 S 3 1 8 で R.status=NEW であると判断した場合には、直接この S 3 2 3 の処理を行う。

【0 0 9 2】

（BSUコードの変更）

以上説明した電子カタログ保守システムによって電子カタログを保守する具体的な例について以下に説明する。図 1 7 は、図 1 0 の S 1 2 の処理の辞書データの編集による B S U コードの変更の様子を示した図である。

【0 0 9 3】

まず、同図（a）に示すように、B 1 を削除するとともに、C 0 の注釈を変更したとする。これによって同図（b）に示すように、削除された B 1 の下位にあった C 2 及び C 3 が A 0 の下位に C 4 と C 5 として直結されるとともに、注釈を変更された C 0 は RevisionUP される。このとき、削除された B 1 の下位にあった C 2 及び C 3 は未使用化状態となり、また B 1、C 2 及び C 3 のみに属している V 4、V 5、V 6 も未使用化状態となる。

【0 0 9 4】

さらに、C 4 と C 5 をマージした場合には、マージされた C 4 と C 5 に代えて新たに C 6 が生成され、C 4 と C 5 は未使用化状態となる。このとき、マージされた C 4 及び C 5 のみに属していた V 7、V 8、V 9、V 1 0 は未使用化状態となり、これらに代えて V 1 1、V 1 2、V 1 3、V 1 4 が新たに追加される。

【0 0 9 5】

（サマリ生成）

このような変更を電子カタログデータに施した場合、変更により生成されたクラス及び属性の B S U コード変更データとそのサマリが生成される様子は以下の通りである。

【0 0 9 6】

図 1 8（a）は、上述したような図 1 7（a）～（c）の操作が行われた際に辞書変更状況検出機能 5 によって生成されたクラスの B S U コード変更データである。そして、これらのデータに対して、上述した図 1 5 に示す処理を行うこと

により、図 1 8 (b) ～ (e) のようにデータが更新される。これにより、クラスの有意義な変更操作のみが抽出できていることがわかる。

【0 0 9 7】

図 1 9 は、図 1 7 の変更により生成された属性の B S Uコード変更データとそのサマリが生成される様子を示した例である。

【0 0 9 8】

図 1 9 (a) は、図 1 7 (a) ～ (c) の操作が行われた際に辞書変更状況検出機能 5 によって生成された属性の B S Uコード変更データである。そして、これらのデータに対して、上述した図 1 6 の処理を行うことにより、図 1 9 (b) ～ (i) のようにデータが更新される。これにより、属性の有意義な変更操作のみが抽出できていることがわかる。

【0 0 9 9】

(辞書の品質検査)

次に本実施形態に係る電子カタログ辞書の保守システムの機能の一つである辞書の品質検査機能の動作について説明する。図 2 0 は、図 1 0 の S 1 7 の処理において辞書体系品質検査機能 6 が辞書の品質データ 2 6 を生成する処理のフローチャートを示したものである。

【0 1 0 0】

先ず、図 2 0 中に示した S 4 0 1 ～ S 4 0 7 の処理において、サマリとなったクラスBSUコード変更データを読み込むとともに、先頭データ R を求め、品質検査ルール 1 3 と照合することによって個々のクラスの品質を評価し、クラスデータの「データの品質レベル」の項にその値を書き込む。

【0 1 0 1】

ここで、品質検査ルール 1 3 としては、例えば図 2 1 (a) に示すような、評価条件及び評価関数で構成されるテーブルを用いることができる。例えば、同図に示すように品質検査ルール 1 3 は、個々のクラスの評価、個々の属性の評価、クラスの階層構造に関する評価、属性の重複性に関する評価、辞書全体に関する評価などから構成することができる。なお、本実施形態では、このような品質検査ルール 1 3 を用いて品質レベルを計算して品質評価を行っているが、付随項目

の重要度などを考慮に入れたり、別の評価軸による評価関数を設定しても良い。

【0102】

その後、S408及びS409の処理において、クラスデータの例えば階層構造の整合性などの全体の品質を、品質検査ルール13に基づいて評価し、辞書体系品質データ26に追加する。さらに、S410～S416の処理において、個々の属性の品質を品質検査ルール13に基づいて評価し、属性データの「データの品質レベル」の項にその値を書き込む。

【0103】

次いで、S417～S418の処理において、属性データの例えば同一の定義の重複存在性などの全体の品質を、品質検査ルール13に基づいて評価し、辞書体系品質データ26に追加する。その後、S419の処理では辞書体系品質データ26を品質検査ルール13に基づいて評価し、電子カタログ辞書全体の品質レベルを計算し、辞書体系品質データ26に追加する。

【0104】

(編集用DB管理部7における処理)

上述した各処理によって作成されたデータは、編集用DB管理部7によって保存される。図22は、図10のS18の処理において編集用DB管理部7がデータを保存する処理のフローチャートを示したものである。

【0105】

同図において、S501～S509の処理では、辞書のリビジョン管理を行うために保存を所望するBSUコード変更データ9、電子カタログ辞書データ10の関係を記述するDB_RevisionとRevision_Historyのエンティティを生成し、revision treeデータ18に保存する。

【0106】

次に、S510～S513の処理では辞書の品質情報を辞書体系品質データ26から求め、DB_Qualityのエンティティを生成し、同様にrevision treeデータ18に保存する。S514の処理ではサマリ生成機能3により作成されたBSUコード変更データ9を編集用BSUコード変更データ9としてBSUコード変更管理編集用DB16に保存する。最後にS515の処理で電子カタログ辞書デ

ータ 1 0 は電子カタログ辞書編集用 DB 1 4 に電子カタログ辞書データ 1 0 として保存される。

【 0 1 0 7 】

(BSUコードの処理)

また、BSUコード更新機能 4 における BSUコード変更管理処理について説明する。図 2 3 は、図 1 0 の S 2 2 において BSUコード更新機能 4 がクラスデータの更新を行う処理のフローチャートを示したものであり、図 2 4 は、図 1 0 の S 2 2 の処理において BSUコード更新機能 4 が属性データの更新を行う処理のフローチャート示したものである。

【 0 1 0 8 】

クラスデータの更新を行う処理の場合は、図 2 3 に示すように、先ず、S 6 0 1 の処理で読込んだ BSUコード変更データ 9 について、Status の値に従って処理を行う。

【 0 1 0 9 】

即ち、S 6 0 3 において、Status=VUP と判断したときには、S 6 0 4 ~ S 6 0 8 の処理により Version UP を行う。一方、S 6 0 3 において、Status=VUP は成立せず且つ S 6 0 9 において Status=RUP であると判断したときには、S 6 1 0 ~ S 6 1 4 の処理により Revision UP を行う。他方、S 6 0 3 において、Status=VUP は成立せず且つ S 6 0 9 において Status=RUP でないと判断したときには、Status=NEW であるか否かの判断をし (S 6 1 5)、Status=NEW であるときには、S 6 1 6 ~ S 6 1 8 の処理を、図 2 1 (b) に示すような BSUコード発番ルール 1 1 に基づいて行い、新たな BSUコードを発番し、クラスデータの BSU項に書き込む。

【 0 1 1 0 】

また、属性データの更新を行う処理の場合には、図 2 4 に示すように、先ず、S 7 0 1 の処理で読込んだ BSUコード変更データ 9 について、Status の値に従って処理を行う。

【 0 1 1 1 】

即ち、S 7 0 3 において、Status=VUP と判断したときには、S 7 0 4 及び

S 7 0 5 の処理により Version UP を行う。一方、S 7 0 3 において、Status = V UP は成立せず且つ S 7 0 6 において Status = R UP のときには、S 7 0 7 ~ S 7 0 8 の処理により Revision UP を行う。他方、S 7 0 3 において、Status = V UP は成立せず且つ S 7 0 6 において Status = R UP でないと判断したときには、Status = NEW であるか否かの判断をし (S 7 0 9)、Status = NEW であると判断したときには、S 7 1 0 ~ S 7 1 2 の処理を、図 2 1 (b) に示す B S U コード発番ルール 1 1 に基づいて行い、新たな B S U コードを発番し、属性データの B S U 項に書き込む。

【0 1 1 2】

(マスタ DB 管理部 8 による処理)

完成度の高い電子カタログデータは、マスタ電子カタログデータとして電子カタログ辞書マスタ DB 2 0 に保存される。図 2 5 は、図 1 0 の S 2 3 の処理においてマスタ DB 管理部 8 がデータを保存する処理のフローチャートを示したものである。

【0 1 1 3】

同図に示すように、S 8 0 1 ~ S 8 0 6 の処理では、辞書のバージョン管理を行うために保存を所望する B S U コード変更データ 9、電子カタログ辞書データ 1 0 の関係を記述する DB_Version と Version_History のエンティティを生成し、version tree データ 2 4 に保存する。

【0 1 1 4】

また、S 8 0 7 ~ S 8 1 0 の処理では辞書の品質情報を辞書体系品質データ 2 6 から求め、DB_Quality のエンティティを生成し、同様に version tree データ 2 4 に保存する。S 8 1 1 の処理ではサマリ生成機能 3 により作成された B S U コード変更データ 9 をマスタ B S U コード変更データ 2 3 として B S U コード変更管理マスタ DB 2 2 に保存する。最後に S 8 1 2 で電子カタログ辞書データ 1 0 は電子カタログ辞書マスタ DB 2 0 に電子カタログ辞書データ 2 1 として保存される。

【0 1 1 5】

(電子カタログの保守プログラム)

なお、上述した電子カタログの保守システムは、所定のプログラム言語で記述された電子カタログの保守プログラムを作成し、この保守プログラムを例えばパーソナルコンピュータ等の汎用コンピュータにインストールすることによっても実現することができる。

【0116】

即ち、辞書エディタ 1 等による編集で生じた電子カタログ辞書データ 10 の変更状況を検出し、ISO 13584 等の規格外の変更がされた場合に BSU コード変更データ 9 を生成するステップと、変更された電子カタログ辞書データ 10 と BSU コード変更データ 9 とを記録するステップとを有する電子カタログ保守ソフトウェアを作成する。

【0117】

なお、電子カタログ保守ソフトウェアにおいては、上述したような BSU コード変更データ 9 の変更履歴のうち冗長な部分を削除して簡略化してサマリを生成するステップを設けることが好ましい。

【0118】

また、かかる電子カタログ保守ソフトウェアにおいては、変更状況が ISO 13584 等の規格外である場合に、変更前の BSU コードを未使用状態とするとともに、規格外の変更に係るカタログデータ又は辞書データに対応するコードを新規に発番するステップと、未使用状態となった識別子と新規に発番された BSU コードとの対応関係を記録した BSU コード変更データ 9 を作成・保存するステップとを設けることもできる。

【0119】

さらに、電子カタログ保守ソフトウェアには、品質検査ルール 13 に基づき、変更された電子カタログ辞書データ 10 を構成する各要素と電子カタログ辞書体系の品質の評価を行い、辞書体系品質データ 19 を作成し、これを BSU コード変更管理編集用 DB 16 等に保存するステップを設けてもよい。

【0120】

このようにして作成された電子カタログの保守プログラムは、図 26 に示すような、汎用コンピュータ 115 で読み取り可能な記録媒体 116～119 に記録

することができる。具体的には、同図に示すような、フロッピーディスク 116 やカセットテープ 119 等の磁気記録媒体、若しくは CD-ROM 117 等の光ディスクの他、RAMカード 118 などのコンピュータで読み取り可能な記録媒体に記録することができる。

【0121】

そして、この電子カタログ保守プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体によれば、電子カタログの変更管理を効率的に行うことが可能となるとともに、変更作業に係る電子カタログ辞書データの統合的な版管理を行うことにより電子カタログの汎用性を担保することができるという有用なプログラムの保存、運搬及びインストールを容易に行うことができる。

【0122】

【発明の効果】

本発明に係る電子カタログ保守システム及び電子カタログ保守プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体によれば、電子カタログの変更管理を効率的に行うことが可能となるとともに、変更作業に係る電子カタログ辞書データの統合的な版管理を行うことによって、従来のシステムを、大きな変更を要することなく利用することができ、電子カタログの汎用性を担保することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の実施形態に係る電子ブロック保守システムの全体構成を示す機能ブロックである。

【図 2】

本実施形態に係る電子カタログ辞書データ 10 におけるクラスデータの一例である。

【図 3】

本実施形態に係る電子カタログ辞書データ 10 における属性データの一例である。

【図 4】

本実施形態に係る電子カタログ辞書データ10におけるクラスー属性関係データの一例である。

【図5】

本実施形態に係るBSUコード変更データ9におけるクラスのBSUコード変更データの一例である。

【図6】

本実施形態に係るBSUコード変更データ9における属性のBSUコード変更データの一例である。

【図7】

本実施形態に係るversion treeデータ24およびrevision treeデータ18を、表現するためのモデルをEXPRESS-Gで記述したものである。

【図8】

本実施形態に係るversion treeデータ24およびrevision treeデータ18のデータ記述例である。

【図9】

本実施形態に係る辞書体系品質データ26のデータの一例である。

【図10】

本実施形態に係る電子カタログ保守システム全体の処理を示すフローチャートである。

【図11】

図10中のS3の処理においてマスタDB管理部8が行う処理のフローチャートである。

【図12】

図10中のS4の処理において編集用DB管理部7が行う処理のフローチャートである。

【図13】

図10中のS13の処理において辞書変更状況検出機能5が行う処理のフローチャートである。

【図14】

本実施形態に係る変更種別識別ルール 1 2 のデータの一例である。

【図 1 5】

図 1 0 中の S 1 6 の処理においてサマリ生成機能 3 がクラスデータに対して行う処理のフローチャートである。

【図 1 6】

図 1 0 中の S 1 6 の処理においてサマリ生成機能 3 が属性データに対して行う処理のフローチャートである。

【図 1 7】

図 1 0 中の S 1 2 の処理によって辞書データの編集による B S U コードの変更の様子を示した例である。

【図 1 8】

図 1 7 に例示した変更により生成されたクラスの B S U コード変更データとそのサマリが生成される様子を示した例である。

【図 1 9】

図 1 7 に例示した変更により生成された属性の B S U コード変更データとそのサマリが生成される様子を示した例である。

【図 2 0】

図 1 0 中の S 1 7 の処理において辞書体系品質検査機能 6 が辞書の品質データを生成する処理のフローチャートである。

【図 2 1】

(a) は、図 1 における品質検査ルール 1 3 のデータの一例であり、(b) は、図 1 における B S U コード発番ルール 1 1 のデータの一例である。

【図 2 2】

図 1 0 の S 1 8 の処理において編集用 D B 管理部 7 がデータを保持する処理のフローチャートである。

【図 2 3】

図 1 0 の S 2 2 の処理において B S U コード更新機能 4 がクラスデータの更新を行う処理のフローチャートである。

【図 2 4】

図 1 0 の S 2 2 の処理において B S U コード更新機能 4 が属性データの更新を行う処理のフローチャートである。

【図 2 5】

図 1 0 の S 2 3 の処理においてマスタ D B 管理部 8 がデータを保持する処理のフローチャートである。

【図 2 6】

本発明の実施形態に係る電子カタログ保守プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体を示す説明図である。

【図 2 7】

I S O 1 3 5 8 4 による電子カタログの構造を例示する説明図である。

【図 2 8】

(a) は、 I S O 1 3 5 8 4 で規定しているプロパティ (属性) の Version / Revision 変更ルールであり、 (b) はクラスの Version / Revision 変更ルールである。

【図 2 9】

電子カタログの変更に対する B S U コードの変化を示す例 (末端クラスの追加) である。

【図 3 0】

電子カタログの変更に対する B S U コードの変化を示す例 (末端クラスの削除) である。

【図 3 1】

電子カタログの変更に対する B S U コードの変化を示す例 (クラスのマージ) である。

【図 3 2】

電子カタログの変更に対する B S U コードの変化を示す例 (クラスの移動) である。

【図 3 3】

電子カタログの変更に対する B S U コードの変化を示す例 (クラスの移動) である。

【図 3 4】

電子カタログの変更に対する B S Uコードの変化を示す例（中間クラスの作成）である。

【図 3 5】

電子カタログの変更に対する B S Uコードの変化を示す例（中間クラスの移動）である。

【図 3 6】

電子カタログの変更に対する B S Uコードの変化を示す例（中間クラスの作成）である。

【図 3 7】

電子カタログの変更に対する B S Uコードの変化を示す例（中間クラスの削除）である。

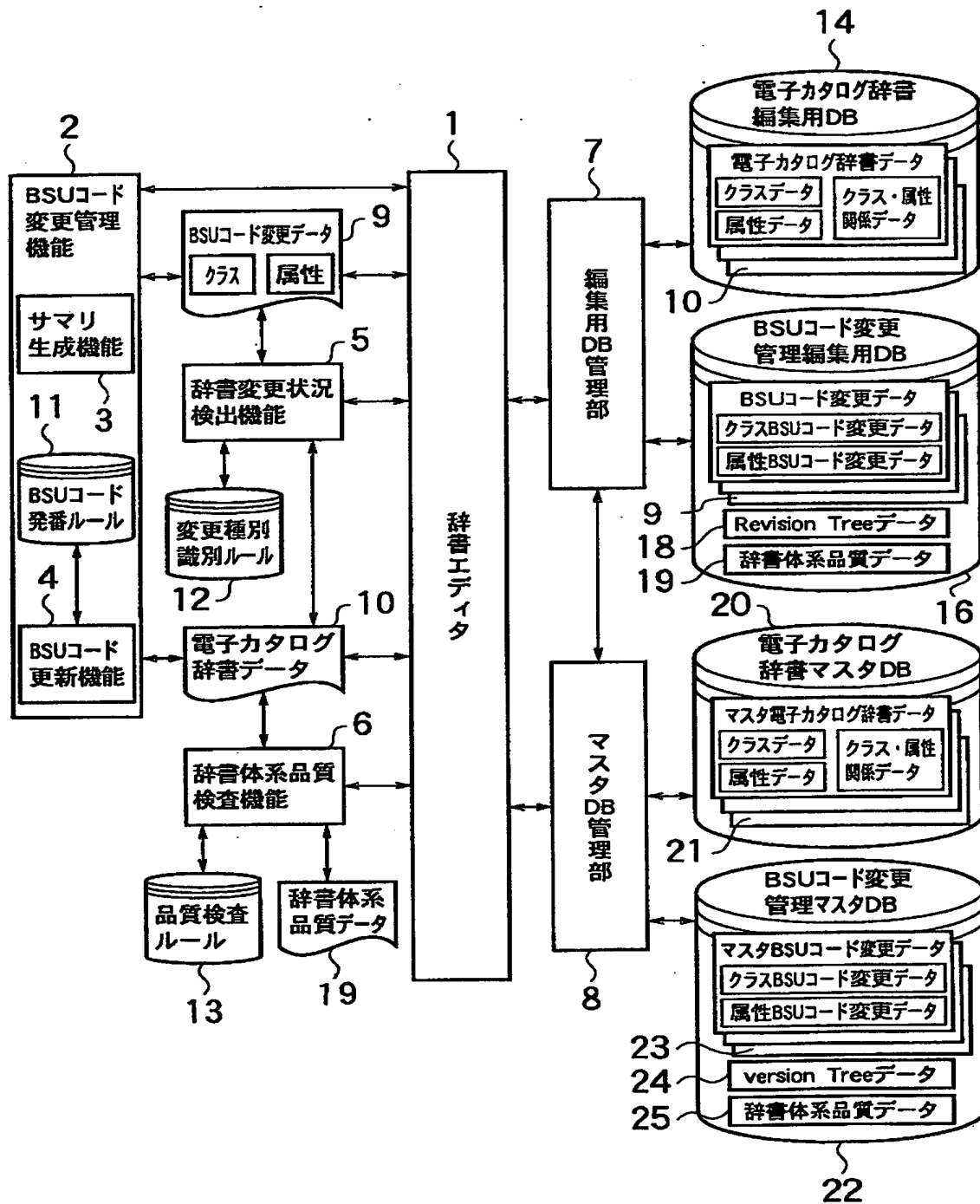
【符号の説明】

- 1 辞書エディタ
- 2 B S Uコード変更管理機能
- 3 サマリ生成機能
- 4 B S Uコード更新機能
- 5 辞書変更状況検出機能
- 6 辞書体系品質検査機能
- 7 編集用 D B 管理部
- 8 マスタ D B 管理部
- 9 B S Uコード変更データ
- 1 0 電子カタログ辞書データ
- 1 1 B S Uコード発番ルール
- 1 2 変更種別識別ルール
- 1 3 品質検査ルール
- 1 4 電子カタログ辞書編集用 D B
- 1 6 B S Uコード変更管理編集用 D B
- 1 8 revision treeデータ

- 1 9 辞書体系品質データ
- 2 0 電子カタログ辞書マスタDB
- 2 1 マスタ電子カタログ辞書データ
- 2 2 BSUコード変更管理マスタDB
- 2 3 マスタBSUコード変更データ
- 2 4 version treeデータ
- 2 5 辞書体系品質データ（マスタ）
- 3 0 version treeデータの範囲
- 3 1 revision treeデータの範囲
- S 1 ~ S 8 1 2 フローチャートの要素

【書類名】 図面

【図 1】



【図 2】

辞書データとBSUコード変更データ

クラスデータ

CID	Preferred_ Name	BSU	親クラスCID	データの 品質レベル
A0	クラスA0	A001				A
B0	クラスB0	A002	A001			A
B1	クラスB1	A003	A001			A
C0	クラスC0	A004	A002			B
C1	クラスC1	A005	A002			B
C2	クラスC2	A006	A003			C
C3	クラスC3	A007	A003			D

【図 3】

属性データ

PID	Preferred_ Name	BSU	データの 品質レベル
V0	属性V0	P001				A
V1	属性V1	P002				A
V2	属性V2	P003				A
V3	属性V3	P004				B
V4	属性V4	P005				B
V5	属性V5	P006				B
V6	属性V6	P007				B

【図 4】

クラス-属性 関係データ

PID	CID scope	Visible	Applicable
V0	A0	A0, B0, B1, C0, C1, C2, C3	A0, B0, B1, C0, C1, C2, C3
V1	B0	B0, C0, C1	B0, C0, C1
V2	C0	C0	NULL
V3	C1	C1	C1
V4	B1	B1, C2, C3	C3
V5	C2	C2	NULL
V6	C3	C3	NULL

【図 5】

クラスのBSUコード変更のデータ

Status	CID	BSU	Refer to	Same as
NEW	C4	NULL	NULL	C3
OOD	C3	A007	C4	NULL
RUP	C2	A006	NULL	NULL

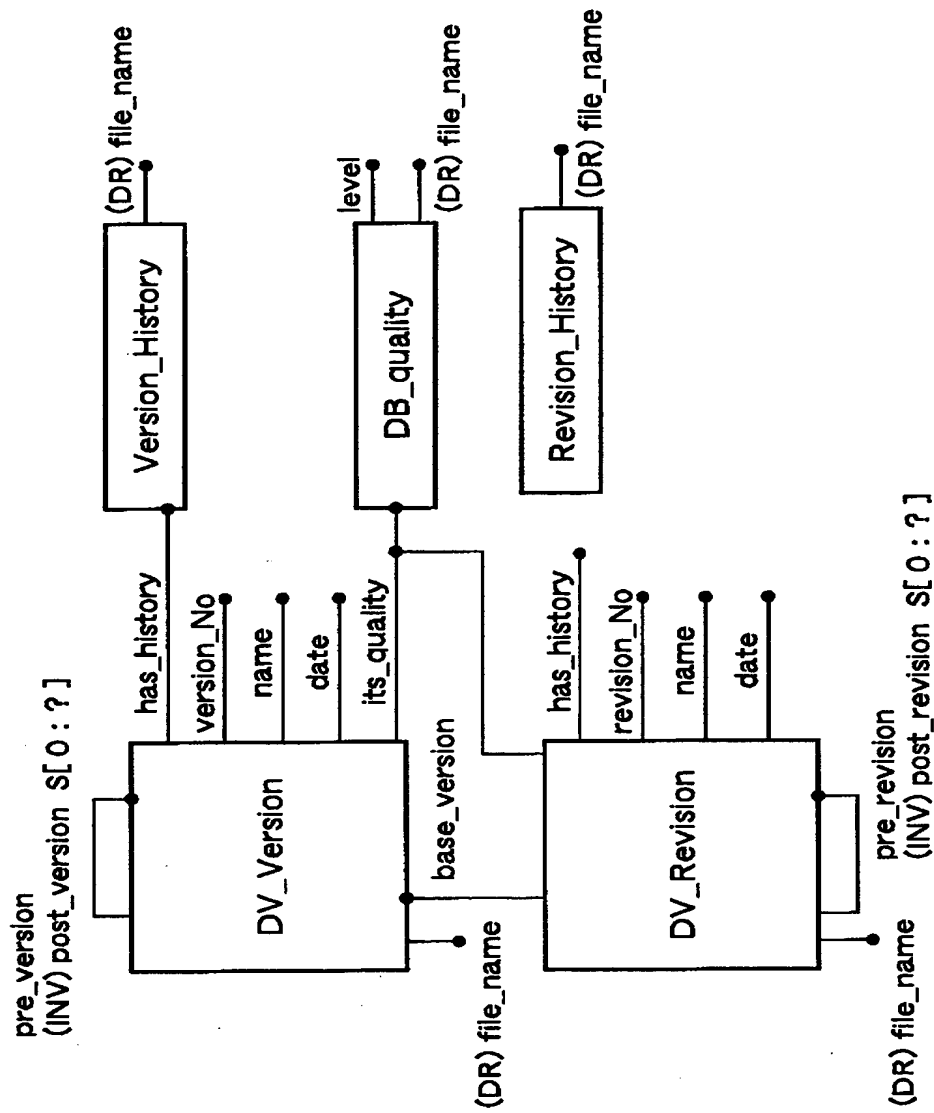
※ VUP : Version UP
 RUP : Revision UP
 NEW : New BSU
 OOD : Out of Dictionary

【図 6】

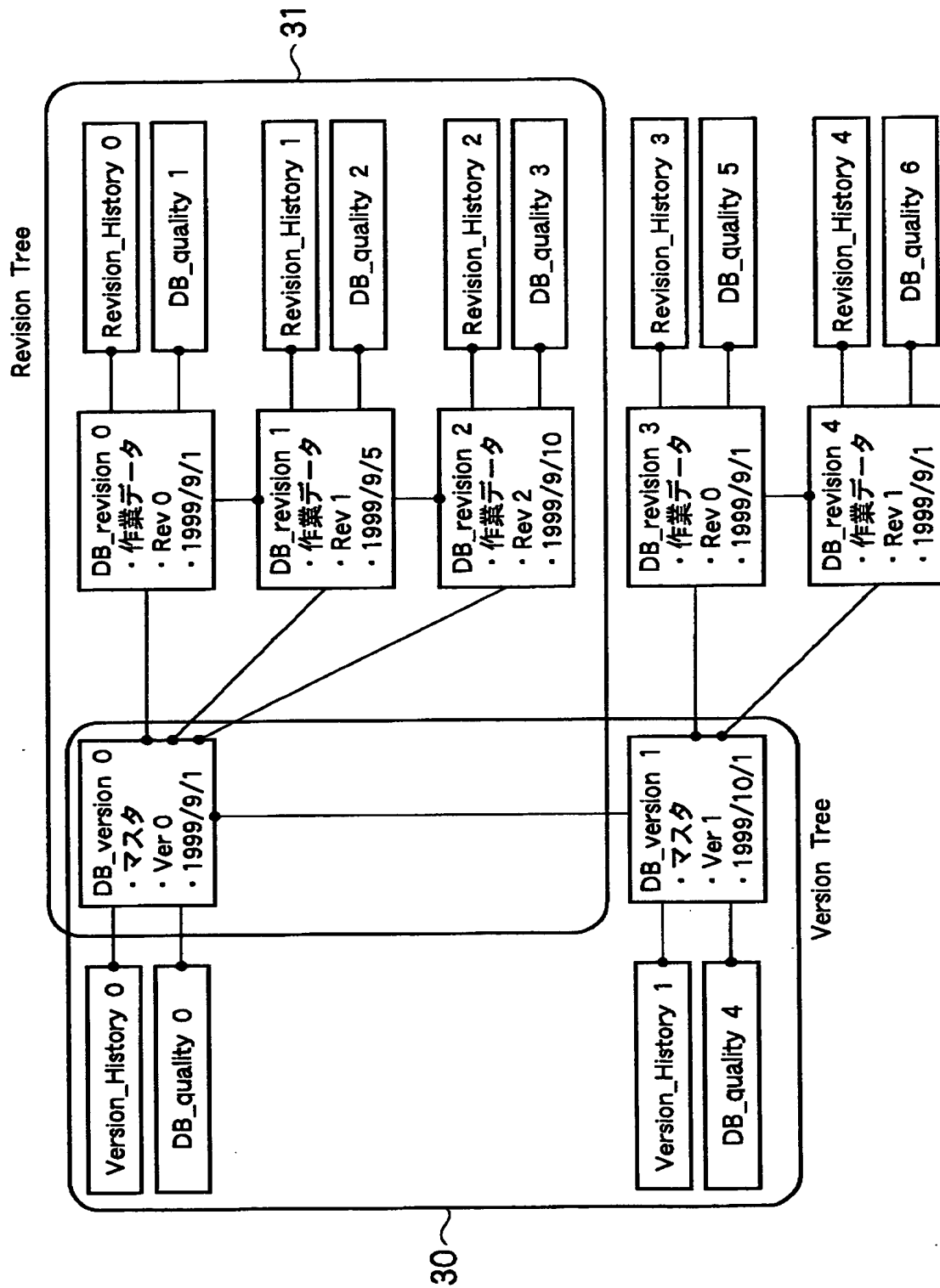
属性のBSUコード変更のデータ

Status	PID	BSU	Refer to	Same as
NEW	V7	NULL	NULL	V4
NEW	V8	NULL	NULL	V6
OOD	V6	P007	V8	NULL
RUP	V2	P003	NULL	NULL

【図 7】



【図 8】

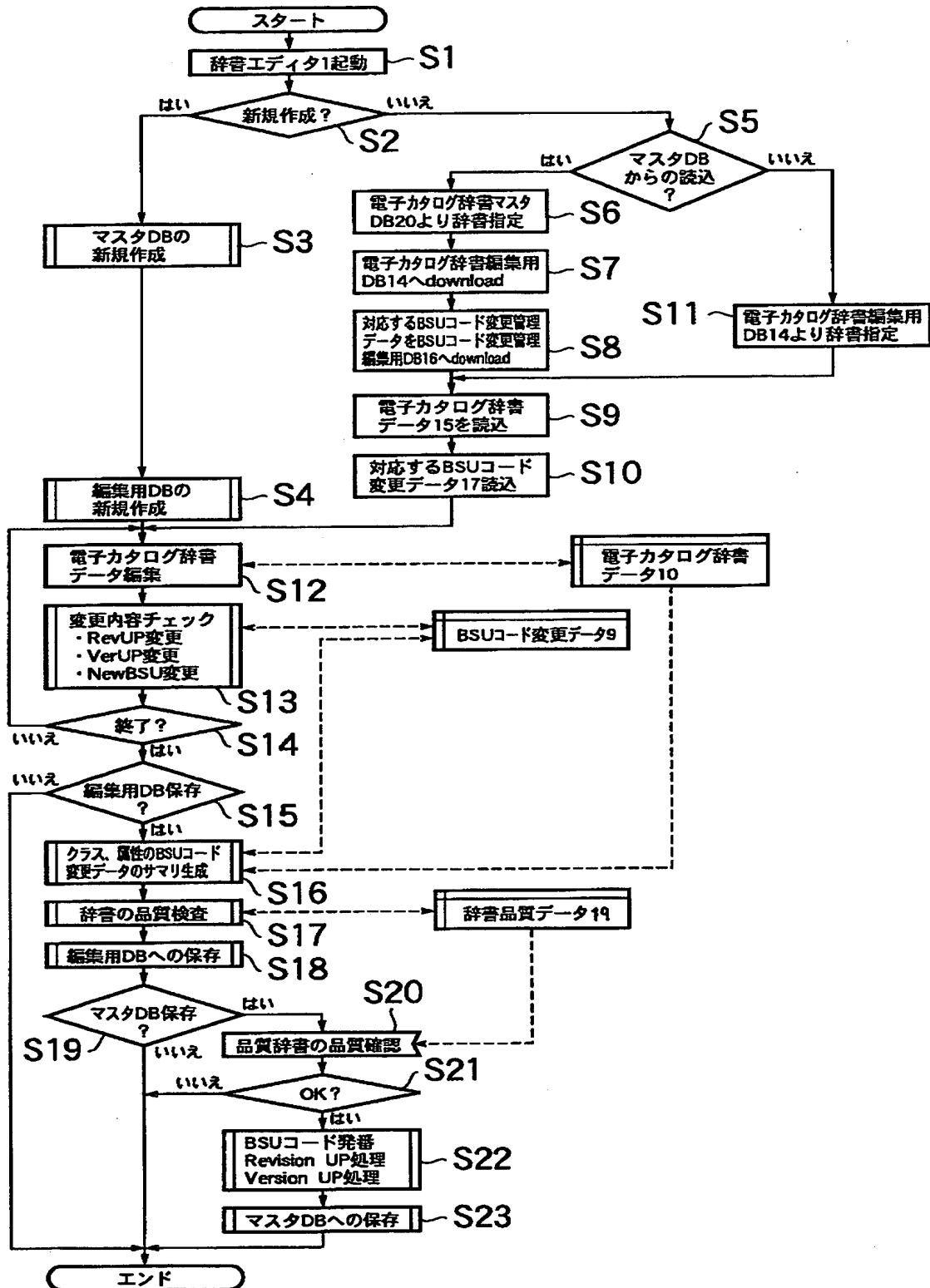


【図 9】

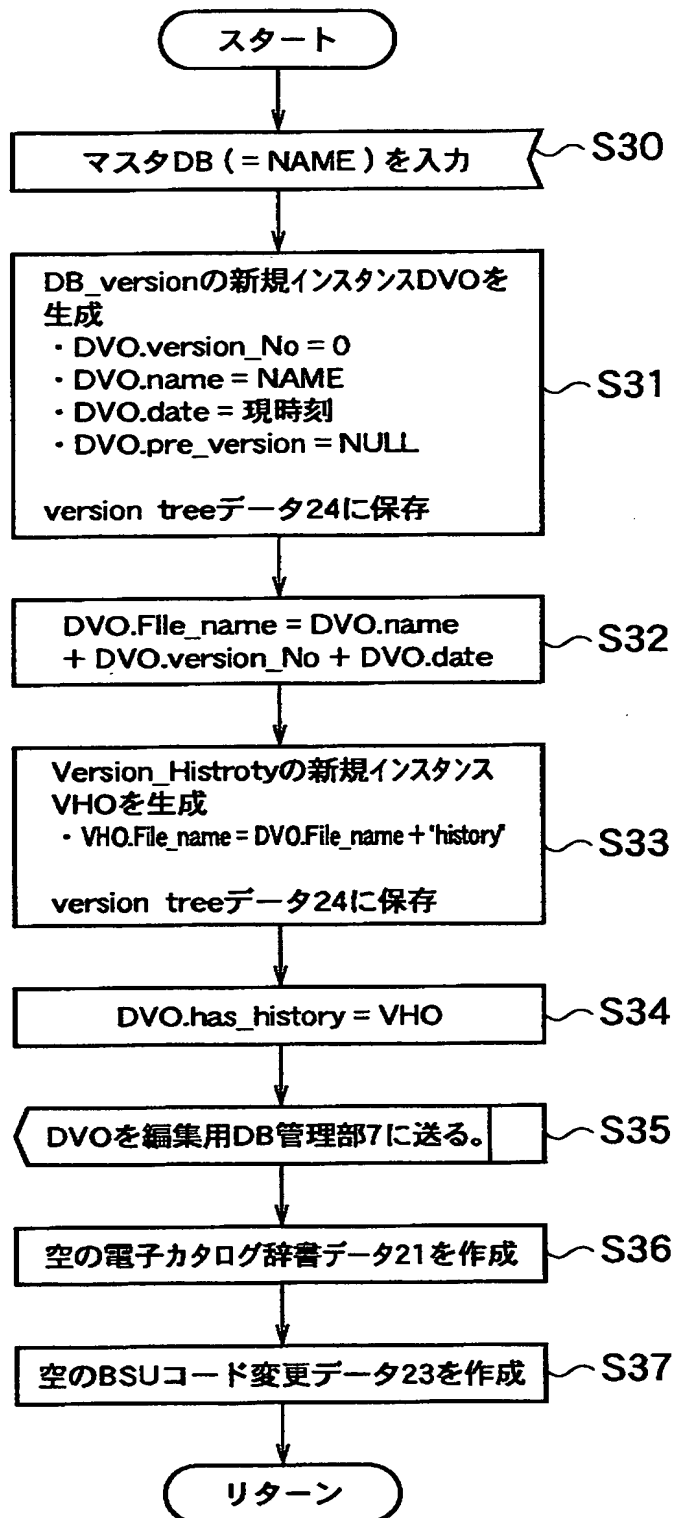
辞書体系品質データ

ID	内容
C1	サブクラスが1個
V7	内容がV3と同一
V8	内容がV4と同一
V9	内容がV5と同一
クラス体系	B

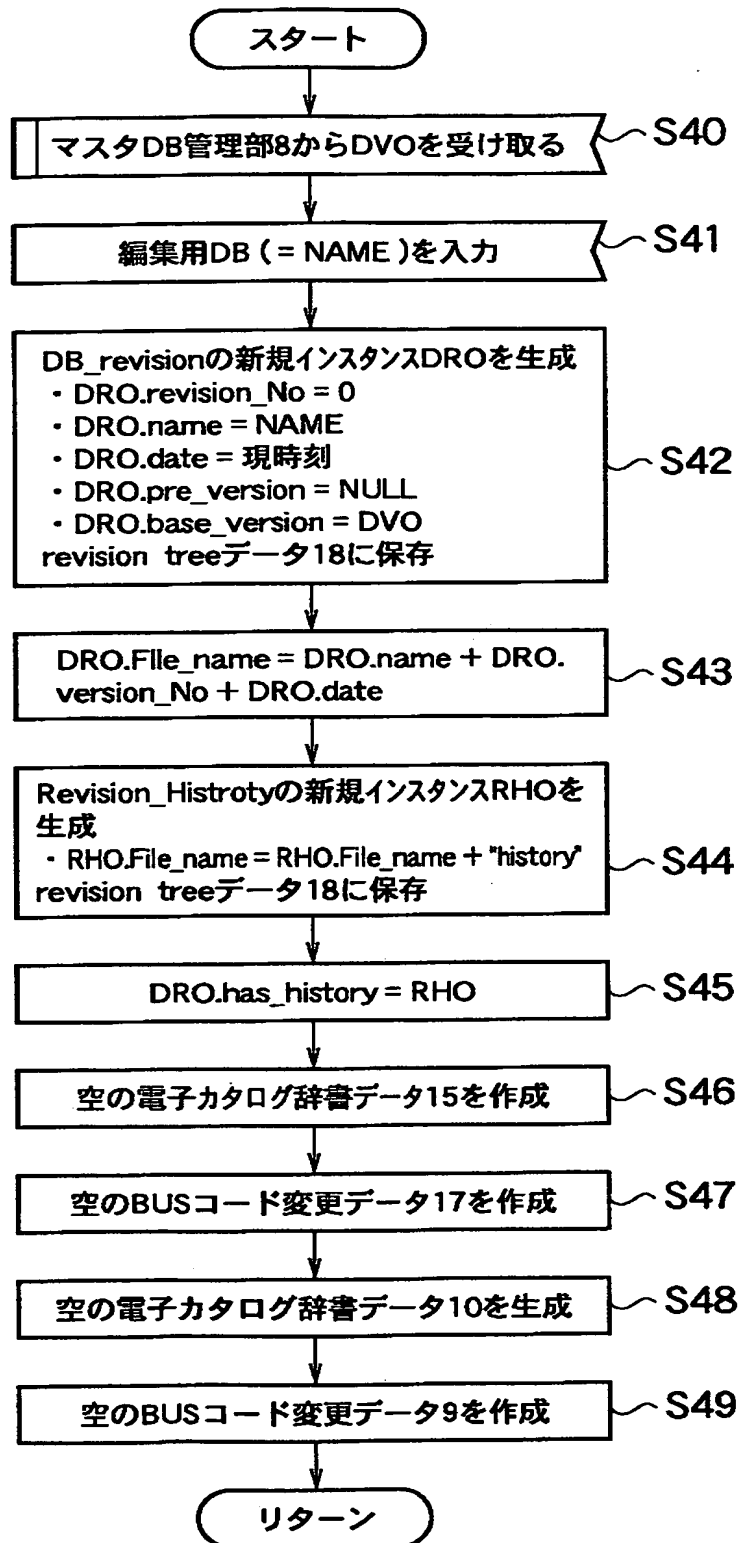
【図 10】



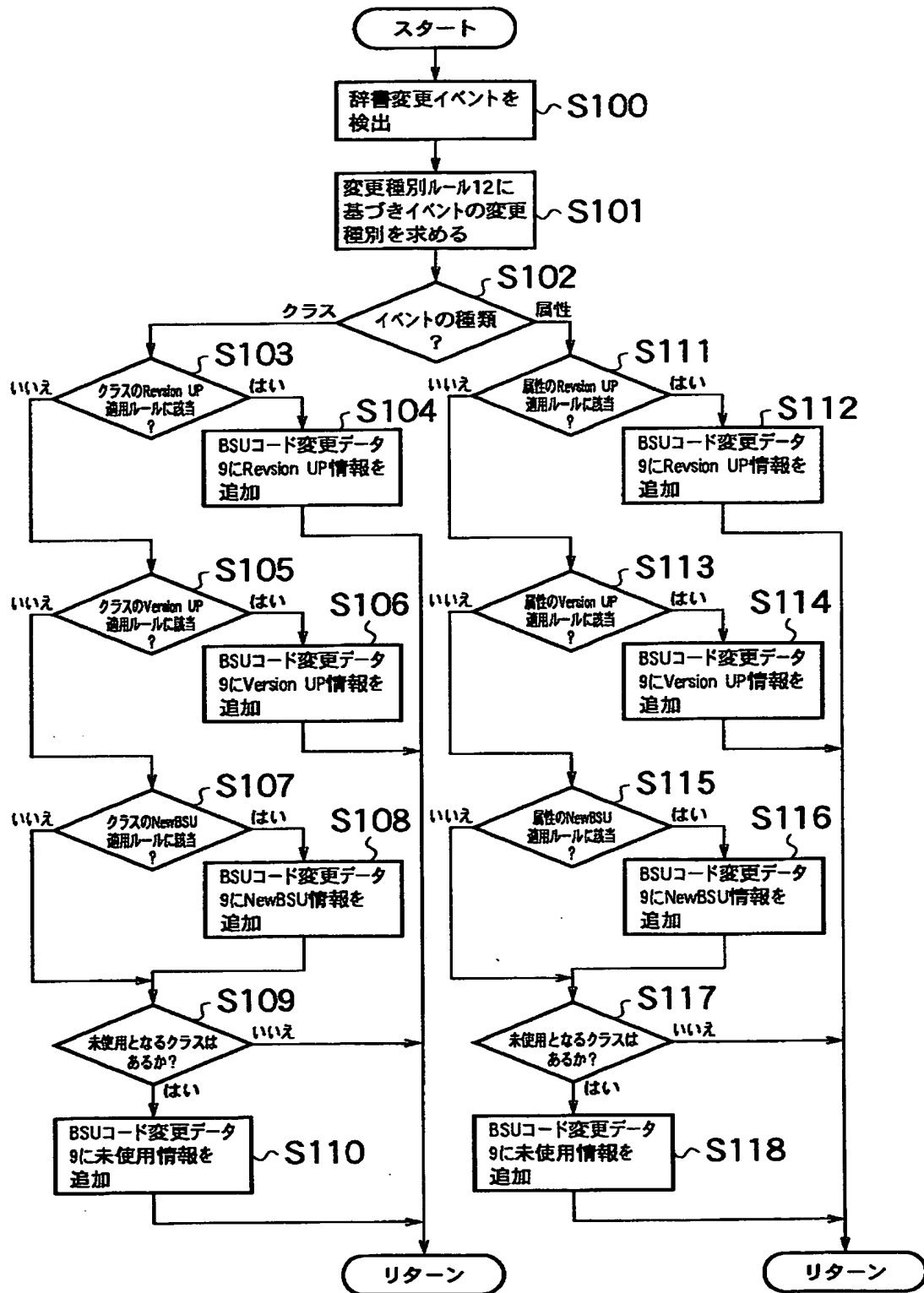
【図 1 1】



【図 1 2】



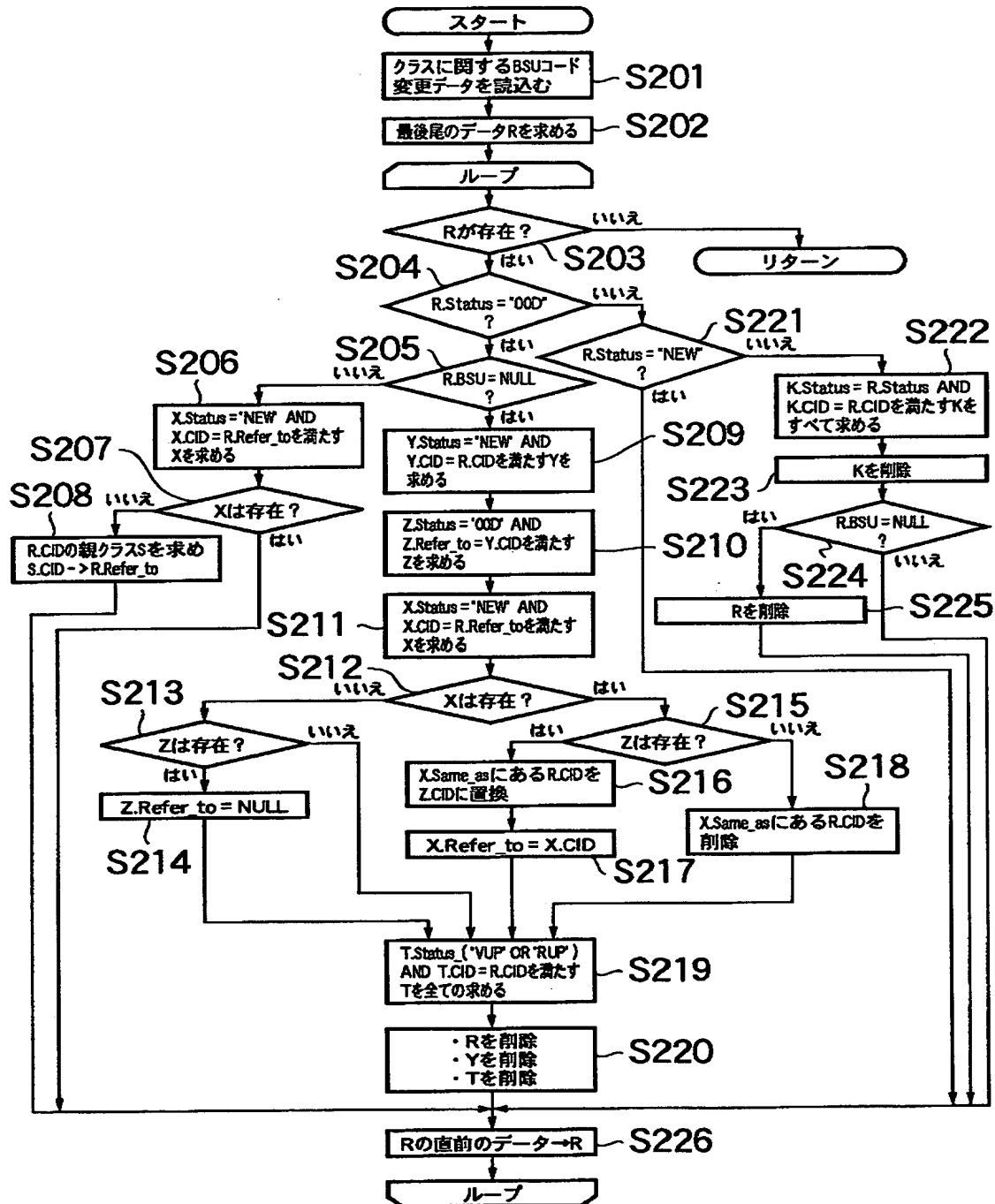
【図 13】



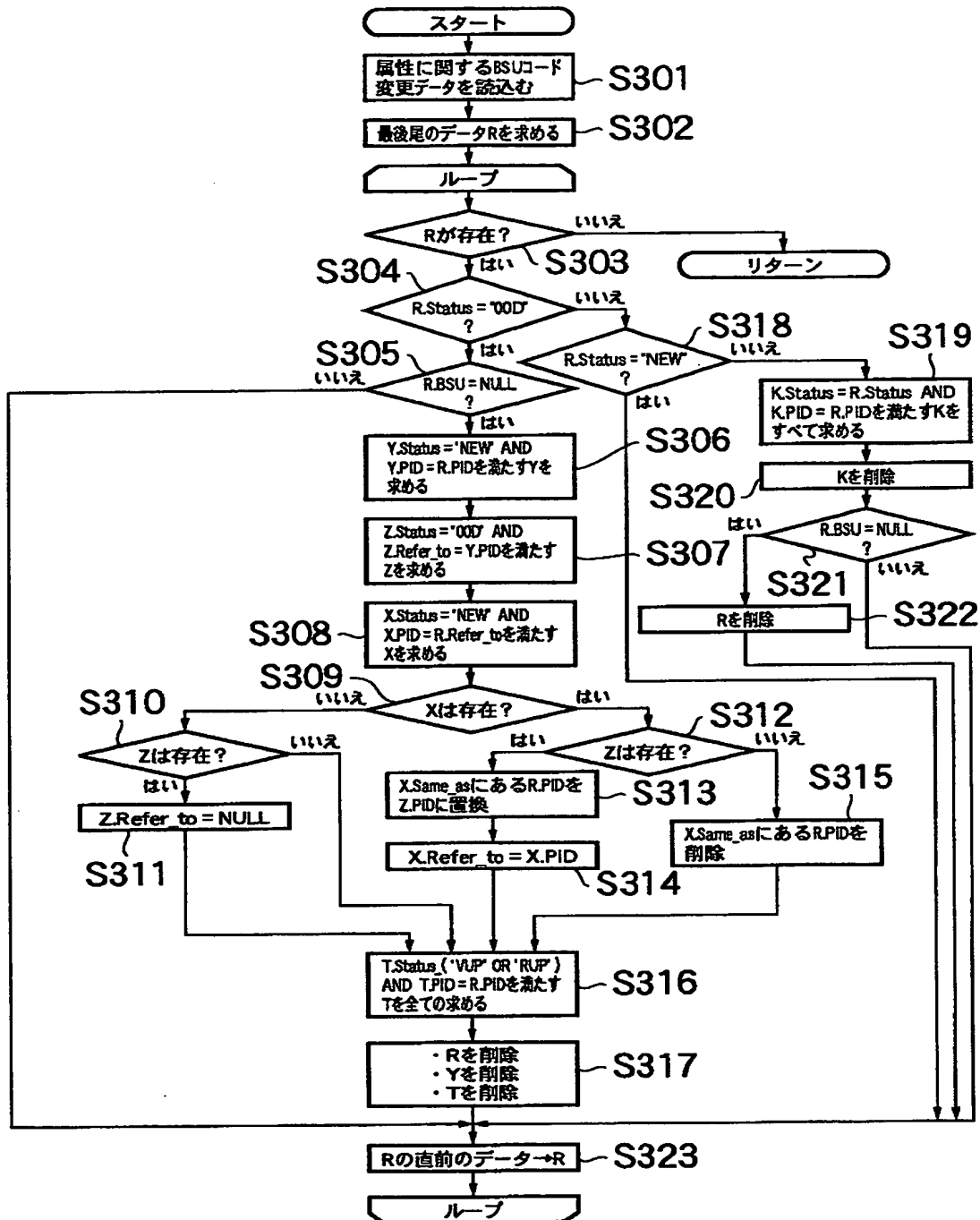
【図 1 4】

ルール 1 :	IF (製品クラスの変更) AND (ISO13584 - 42に記述されたRevisionUPとなる変更) THEN (製品クラスのRevision UP)
ルール 2 :	IF (製品クラスの変更) AND (ISO13584 - 42に記述されたVersionUPとなる変更) THEN (製品クラスのVersion UP)
ルール 3 :	IF (末端製品クラスの新規作成) THEN (製品クラスのNewBSU)
ルール 4 :	IF (製品クラスのマージ) THEN (製品クラスのNewBSU) AND (未使用クラス = マージされる製品クラス)
ルール 5 :	IF (製品クラスの移動) AND (トポロジの変更) THEN (製品クラスのNewBSU) AND (未使用クラス = 移動前の製品クラス)
ルール 6 :	IF (中間製品クラスの削除) THEN (製品クラスのNewBSU) AND (未使用クラス = 削除される製品クラス)
ルール 7 :	IF (中間製品クラスの挿入) THEN (製品クラスのNewBSU)
ルール 8 :	IF (末端製品クラスの削除) THEN (未使用クラス = 削除される製品クラス)
ルール 9 :	IF (属性の変更) AND (ISO13584 - 42に記述されたRevisionUPとなる変更) THEN (属性のRevision UP)
ルール 10 :	IF (属性の変更) AND (ISO13584 - 42に記述されたVersionUPとなる変更) THEN (属性のVersion UP)
ルール 11 :	IF (属性の新規作成) THEN (属性のNewBSU)
ルール 12 :	IF (属性の削除) THEN (未使用クラス = 削除される属性)
ルール 13 :	IF (属性のName Scopeの変更) THEN (属性のNewBSU) AND (未使用属性 = 変更前の属性)

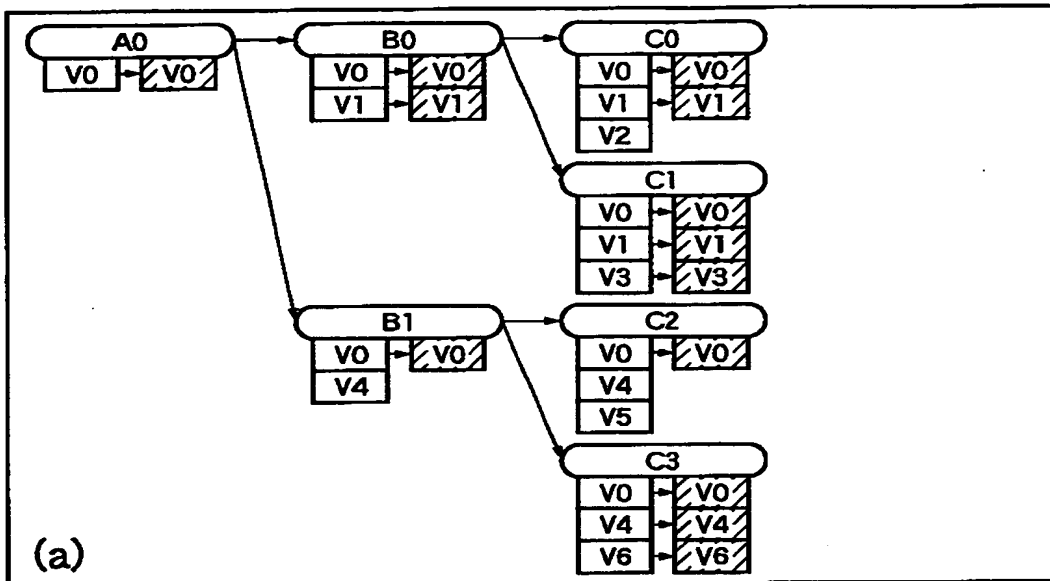
【図 15】



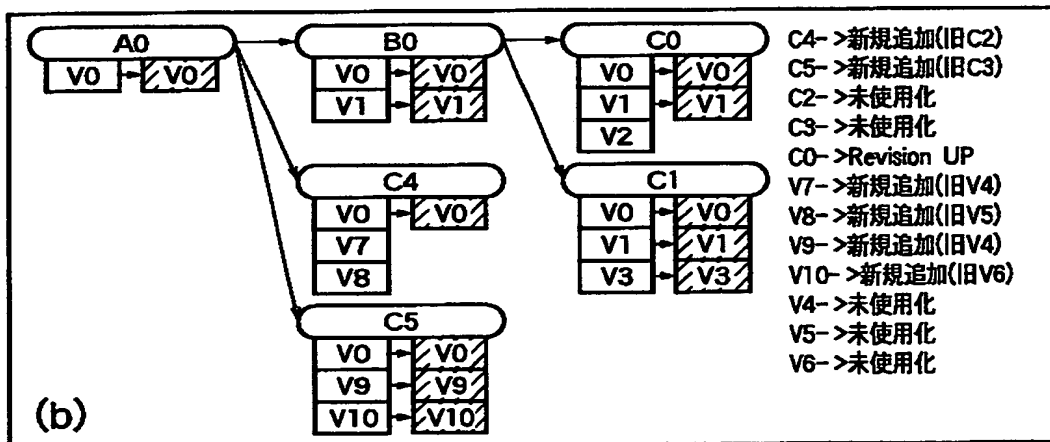
【図 16】



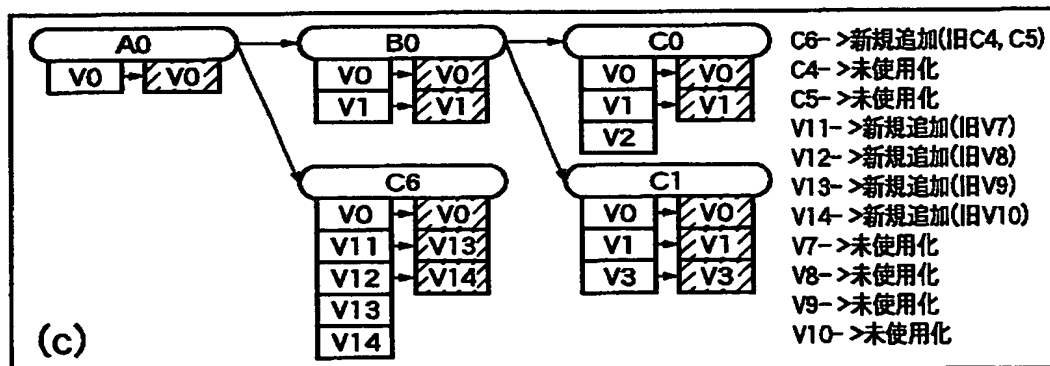
【図 1 7】



B1削除、C0の注釈を変更



C4とC5をマージ



【図 1 8】

クラスのBSUコード変更データ

(a)

Status	CID	BSU	Refer to	Same as
NEW	C4	NULL	NULL	C2
NEW	C5	NULL	NULL	C3
00D	C2	A007	C4	NULL
00D	C3	A008	C5	NULL
RUP	C0	A006	NULL	NULL
NEW	C6	NULL	NULL	(C4, C5)
00D	C4	NULL	C6	NULL
00D	C5	NULL	C6	NULL



(b)

Status	CID	BSU	Refer to	Same as
NEW	C4	NULL	NULL	C2
NEW	C5	NULL	NULL	C3
00D	C2	A007	C4	NULL
00D	C3	A008	C6	NULL
RUP	C0	A006	NULL	NULL
NEW	C6	NULL	NULL	(C4, C3)
00D	C4	NULL	C6	NULL
00D	C5	NULL	C6	NULL



(c)

Status	CID	BSU	Refer to	Same as
NEW	C4	NULL	NULL	C2
00D	C2	A007	C4	NULL
00D	C3	A008	C6	NULL
RUP	C0	A006	NULL	NULL
NEW	C6	NULL	NULL	(C4, C3)
00D	C4	NULL	C6	NULL



(d)

Status	CID	BSU	Refer to	Same as
NEW	C4	NULL	NULL	C2
00D	C2	A007	C6	NULL
00D	C3	A008	C6	NULL
RUP	C0	A006	NULL	NULL
NEW	C6	NULL	NULL	(C2, C3)
00D	C4	NULL	C6	NULL



(e)

Status	CID	BSU	Refer to	Same as
00D	C2	A007	C6	NULL
00D	C3	A008	C6	NULL
RUP	C0	A006	NULL	NULL
NEW	C6	NULL	NULL	(C2, C3)

【図 1 9】

クラスのBSUコード変更データ

(a)

Status	PID	BSU	Refer to	Same as
NEW	V7	NULL	NULL	V4
NEW	V8	NULL	NULL	V5
NEW	V9	NULL	NULL	V4
NEW	V10	NULL	NULL	V6
OOD	V4	P004	(V7, V9)	NULL
OOD	V5	P005	V8	NULL
OOD	V6	P006	V10	NULL
NEW	V11	NULL	NULL	V4
NEW	V12	NULL	NULL	V5
NEW	V13	NULL	NULL	V4
NEW	V14	NULL	NULL	V6
OOD	V7	NULL	V11	NULL
OOD	V8	NULL	V12	NULL
OOD	V9	NULL	V13	NULL
OOD	V10	NULL	V14	NULL

(b)

Status	PID	BSU	Refer to	Same as
NEW	V7	NULL	NULL	V4
NEW	V8	NULL	NULL	V5
NEW	V9	NULL	NULL	V4
NEW	V10	NULL	NULL	V6
OOD	V4	P004	(V7, V9)	NULL
OOD	V5	P005	V8	NULL
OOD	V6	P006	V14	NULL
NEW	V11	NULL	NULL	V7
NEW	V12	NULL	NULL	V8
NEW	V13	NULL	NULL	V9
NEW	V14	NULL	NULL	V6
OOD	V7	NULL	V11	NULL
OOD	V8	NULL	V12	NULL
OOD	V9	NULL	V13	NULL
OOD	V10	NULL	V14	NULL

(c)

Status	PID	BSU	Refer to	Same as
NEW	V7	NULL	NULL	V4
NEW	V8	NULL	NULL	V5
NEW	V9	NULL	NULL	V4
OOD	V4	P004	(V7, V8)	NULL
OOD	V5	P005	V8	NULL
OOD	V6	P006	V14	NULL
NEW	V11	NULL	NULL	V7
NEW	V12	NULL	NULL	V8
NEW	V13	NULL	NULL	V9
NEW	V14	NULL	NULL	V6
OOD	V7	NULL	V11	NULL
OOD	V8	NULL	V12	NULL
OOD	V9	NULL	V13	NULL

(d)

Status	PID	BSU	Refer to	Same as
NEW	V7	NULL	NULL	V4
NEW	V8	NULL	NULL	V5
NEW	V9	NULL	NULL	V4
OOD	V4	P004	(V7, V13)	NULL
OOD	V5	P005	V8	NULL
OOD	V6	P006	V14	NULL
NEW	V11	NULL	NULL	V7
NEW	V12	NULL	NULL	V8
NEW	V13	NULL	NULL	V4
NEW	V14	NULL	NULL	V6
OOD	V7	NULL	V11	NULL
OOD	V8	NULL	V12	NULL
OOD	V9	NULL	V13	NULL

(e)

Status	PID	BSU	Refer to	Same as
NEW	V7	NULL	NULL	V4
NEW	V8	NULL	NULL	V5
OOD	V4	P004	(V7, V13)	NULL
OOD	V5	P005	V8	NULL
OOD	V6	P006	V14	NULL
NEW	V11	NULL	NULL	V7
NEW	V12	NULL	NULL	V8
NEW	V13	NULL	NULL	V4
NEW	V14	NULL	NULL	V6
OOD	V7	NULL	V11	NULL
OOD	V8	NULL	V12	NULL

(f)

Status	PID	BSU	Refer to	Same as
NEW	V7	NULL	NULL	V4
NEW	V8	NULL	NULL	V5
OOD	V4	P004	(V7, V13)	NULL
OOD	V5	P005	V12	NULL
OOD	V6	P006	V14	NULL
NEW	V11	NULL	NULL	V7
NEW	V12	NULL	NULL	V5
NEW	V13	NULL	NULL	V4
NEW	V14	NULL	NULL	V6
OOD	V7	NULL	V11	NULL
OOD	V8	NULL	V12	NULL

(g)

Status	PID	BSU	Refer to	Same as
NEW	V7	NULL	NULL	V4
OOD	V4	P004	(V7, V13)	NULL
OOD	V5	P005	V12	NULL
OOD	V6	P006	V14	NULL
NEW	V11	NULL	NULL	V7
NEW	V12	NULL	NULL	V5
NEW	V13	NULL	NULL	V4
NEW	V14	NULL	NULL	V6
OOD	V7	NULL	V11	NULL

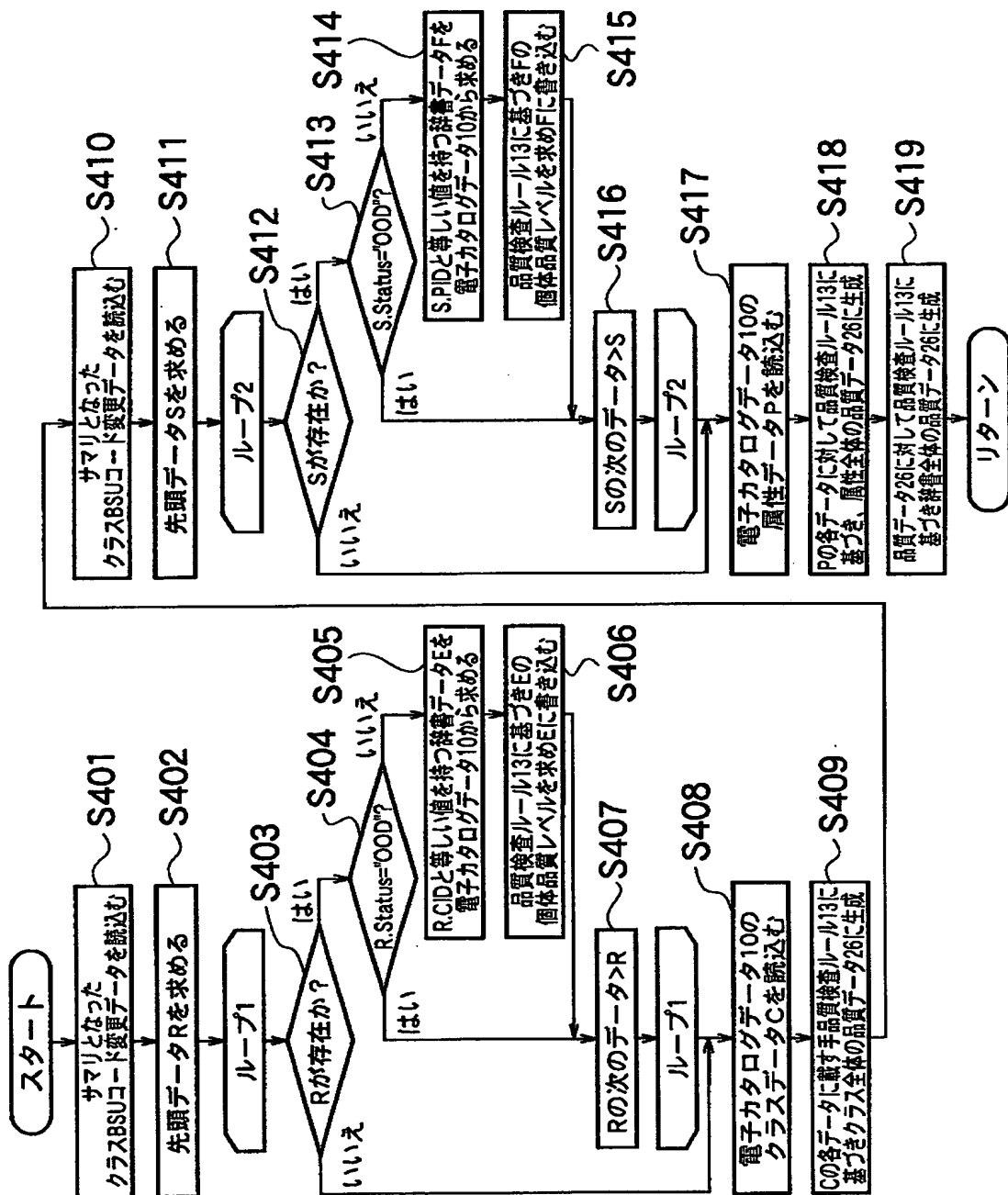
(h)

Status	PID	BSU	Refer to	Same as
NEW	V7	NULL	NULL	V4
OOD	V4	P004	(V7, V13)	NULL
OOD	V5	P005	V12	NULL
OOD	V6	P006	V14	NULL
NEW	V11	NULL	NULL	V4
NEW	V12	NULL	NULL	V5
NEW	V13	NULL	NULL	V4
NEW	V14	NULL	NULL	V6
OOD	V7	NULL	V11	NULL

(i)

Status	PID	BSU	Refer to	Same as
OOD	V4	P004	(V11, V13)	NULL
OOD	V5	P005	V12	NULL
OOD	V6	P006	V14	NULL
NEW	V11	NULL	NULL	V4
NEW	V12	NULL	NULL	V5
NEW	V13	NULL	NULL	V4
NEW	V14	NULL	NULL	V6

【図 2 0】



【図 2 1】

(a)

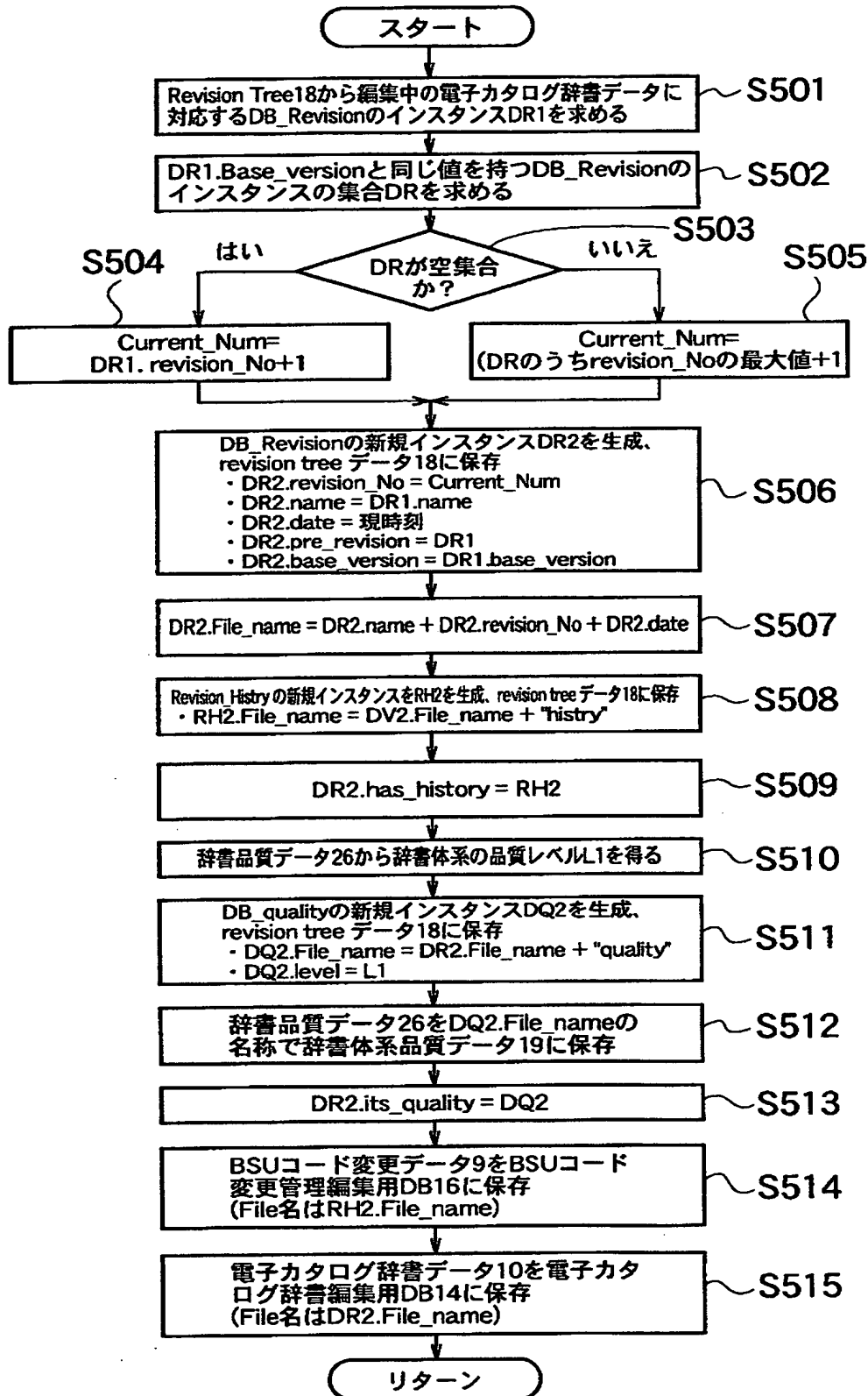
ルール1 :	IF (E=製品クラス) AND (個体検査) THEN (E.品質レベル = 評価関数F1(E))
ルール2 :	IF (E=属性クラス) AND (個体検査) THEN (E.品質レベル = 評価関数F2(E))
ルール3 :	IF (E=製品クラス) AND (体系検査) THEN (体系の品質レベルL1 = 評価関数F3(E))
ルール4 :	IF (E=属性クラス) AND (体系検査) THEN (体系の品質レベルL1 = 評価関数F4(E))
ルール5 :	IF (E=辞書) THEN (体系の品質レベルL1 = 評価関数F5(E))

評価関数F1 :	IF ((Y=Xの記述されている属性数/Xの属性数)>0.9) THEN 品質レベル = "A"
	ELSE IF (0.9≥Y>0.6) THEN 品質レベル = "B"
	ELSE IF (0.6≥Y>0.4) THEN 品質レベル = "C"
	ELSE IF (0.4≥Y) THEN 品質レベル = "D"
評価関数F2 :	IF ((Y=Xの記述されている属性数/Xの属性数)>0.95) THEN 品質レベル = "A"
	ELSE IF (0.95≥Y>0.8) THEN 品質レベル = "B"
	ELSE IF (0.8≥Y>0.6) THEN 品質レベル = "C"
	ELSE IF (0.6≥Y) THEN 品質レベル = "D"
評価関数F3 :	IF (X!=末端クラス) AND (Xのサブクラスの数 = 1) THEN L1 = L1 + 1, Return("X.CID", "サブクラスが一個")
評価関数F4 :	IF (X.Same_as!=NULL) AND (NOT (Z.CID = X.Same_as) AND (Z.Status = "OOD")) THEN L1 = L1 + 1, Return("X.CID", "X.Same_asと同一")
評価関数F5 :	IF (L1<5) THEN 品質レベル = "A"
	ELSE IF (10≥L1>5) THEN 品質レベル = "B"
	ELSE IF (50≥L1>10) THEN 品質レベル = "C"
	ELSE IF (50≥L1) THEN 品質レベル = "D"

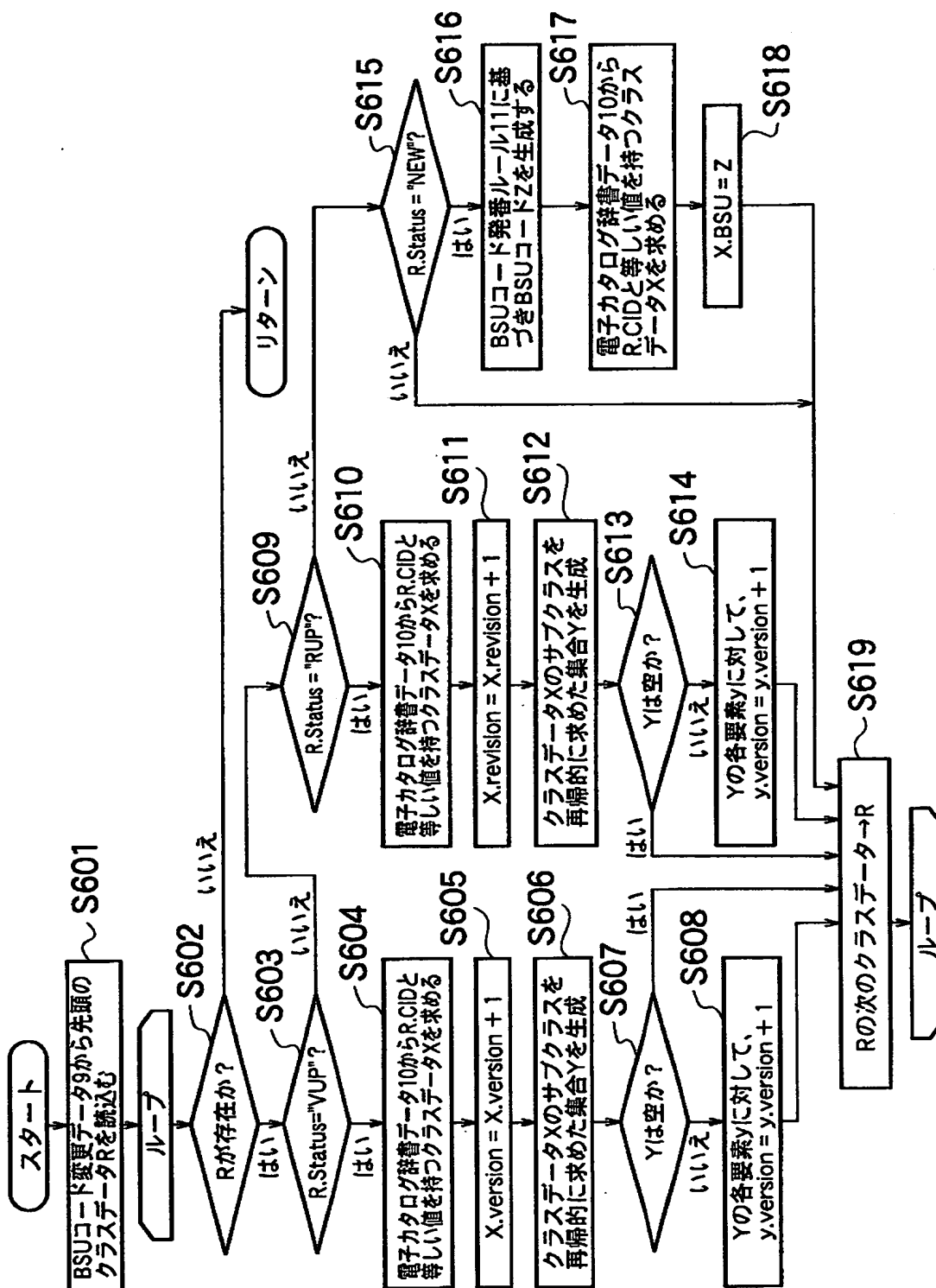
(b)

ルール1 :	IF クラスBSUの発番 THEN BSUコード = "A" + 現在のクラスBSU発行番号の最大値 + 1
ルール2 :	IF 属性BSUの発番 THEN BSUコード = "P" + 現在の属性BSU発行番号の最大値 + 1

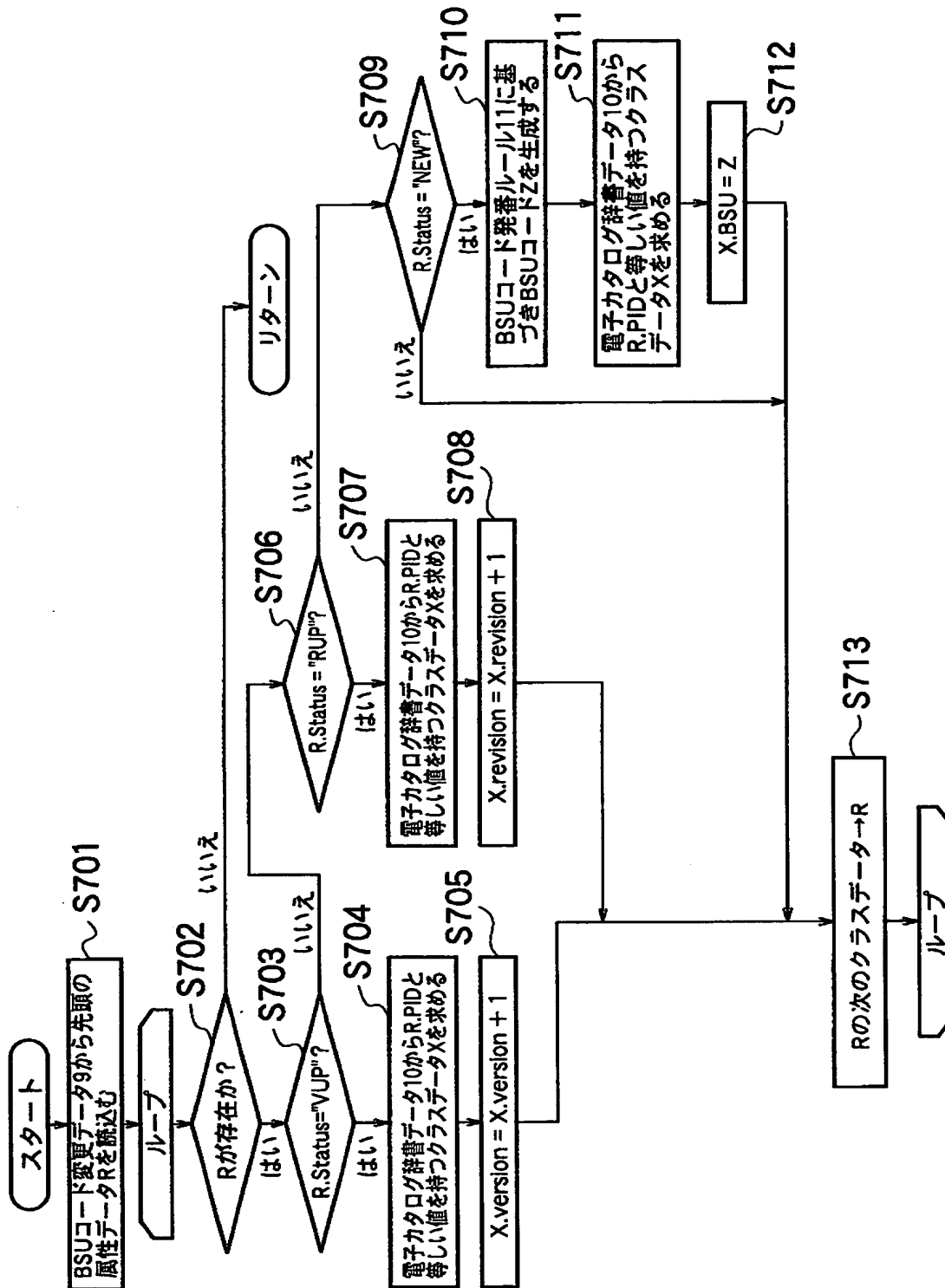
【図 2 2】



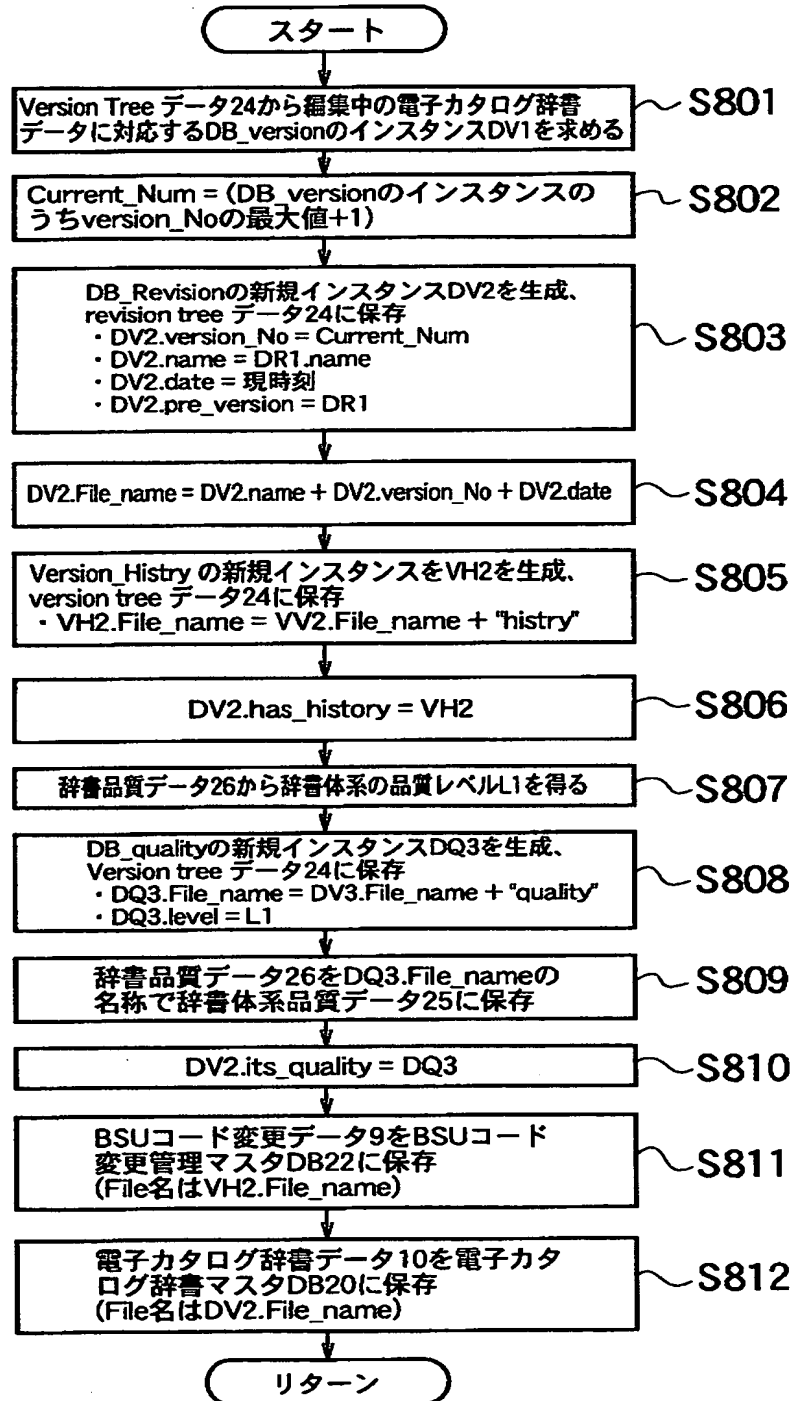
【图 2 3】



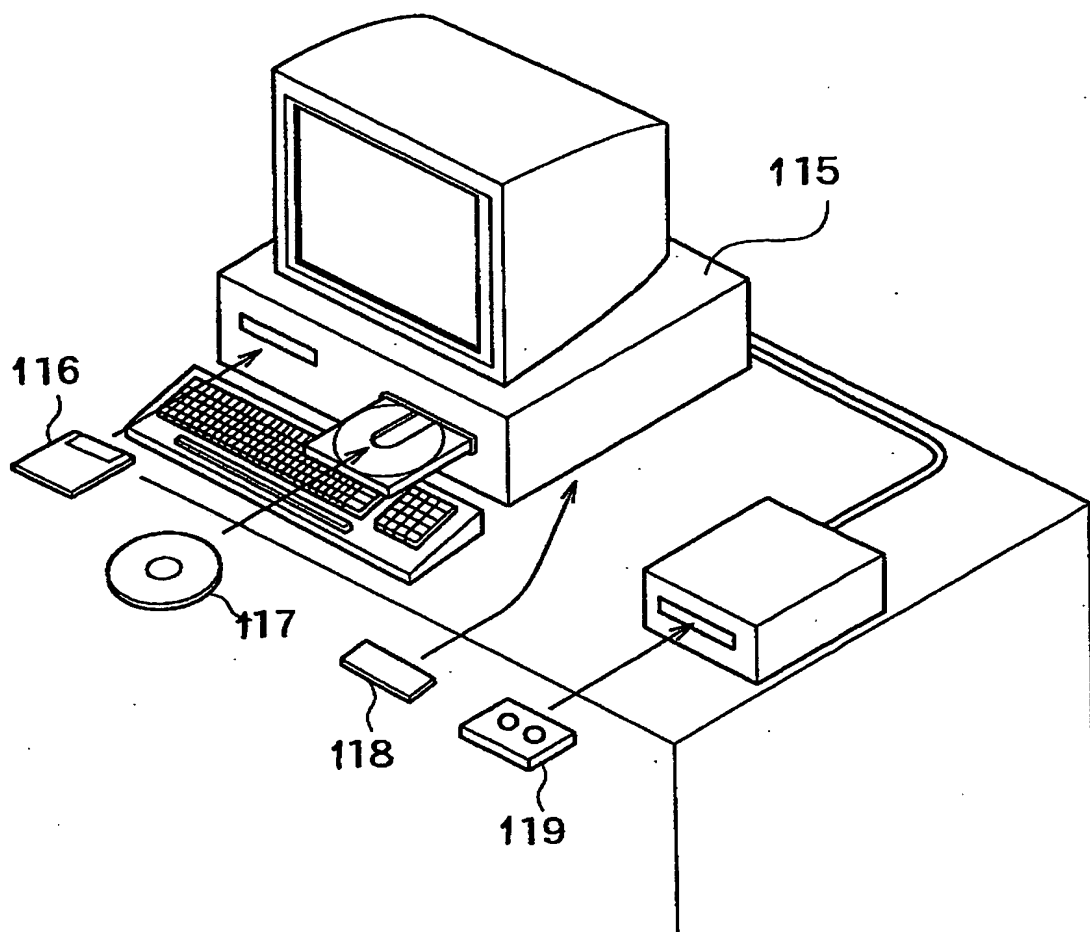
【図 2 4】



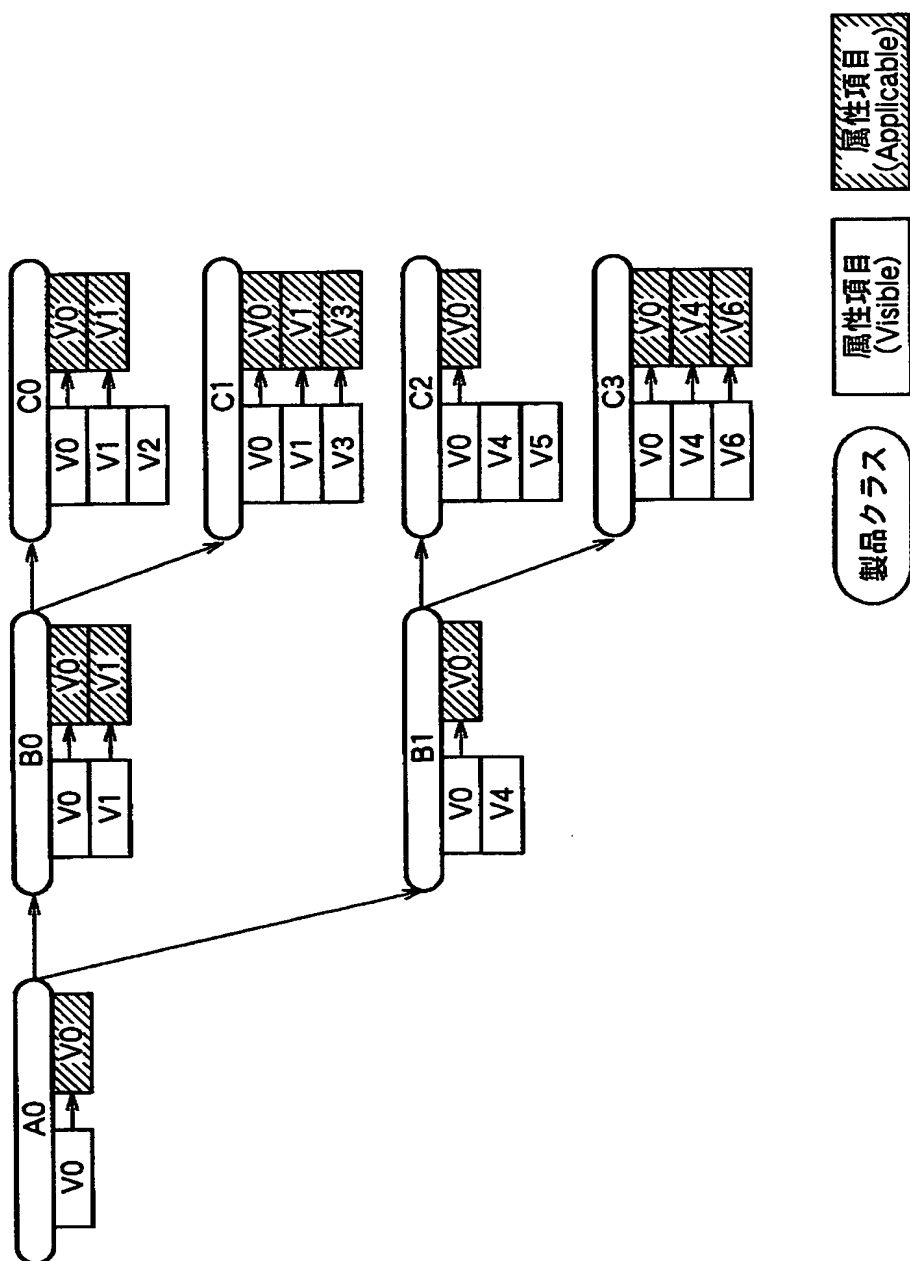
【図 2 5】



【図 26】



【図 2 7】



【図 28】

(a)

PropertyのRev/Verについて

Concept model	i Data model	追加	修正	削除
Code	Property BSU.code	—	X	X
Definition Class	Property BSU.name_scope	X	X	X
Data types	Property DET.domain	—	V(※8)	X
Preferred Name	item_name.name	—	R	X
Short Name	item_name.Short_name	—	R	X
Preferred Letter Symbol	Property DET.preferred_symbol	R	R	X
Synonymous Letter Symbol	Property DET.synonymous_symbols	R	R	R
Synonymous Name	item_name.Synonymous_names	R	R	R
Property Type Classification	Property DET.DET_classification	—	R(※9)	X
Definition	Property DET.definition	—	R/V(※10)	X
Source Document of definition	identified document.document_identifier	R(※11)	R(※11)	R
Note	Property DET.note	R(※11)	R(※11)	R
Remark	Property DET.remark	R(※11)	R(※11)	R
Unit	int/real measure type.unit.structured representation	—	X	X
Condition	Property DET.depends_on	X	X/R(※12)	X
Formula	Property DET.formula	R(※11)	R(※11)	R(※11)
Format	Property DET.domain.simple type.value_format	—	V	X
Date of Original Definition	dates.date_of_original_definition	—	X	X
Date of current version	dates.date_of_current_version	—	V	X
Date of current version	dates.date_of_current_version	—	R/V	X
Version number	Property BSU.version	—	V	X
Revision number	Property DET.revision	—	R	X

※8 Data_Type自身の変更は不許可、可能なのは、

1. 列挙形データの選択子の追加
2. 属性の範囲を構成しているクラスのVersionの変更(ex:is_part_of関係)
3. Data_type BSUのVersionの変更

※9 ISO31またはISO13584のRevの変更時のみ

※10 Propertyの影響を与えるような定義変更は不許可。ただし、このPropertyの値を評価する処理に変更はありうる。このような場合はVerの変更そうでなければRev変更となる。

※11 Propertyの影響を与えるような定義変更は不許可。

※12 Condition_DETの変更は不可。Condition_DETのVersion変更によりDepend_P_DETに波及する。

(b)

ClassのRev/Verについて

Concept model	i Data model	追加	修正	削除
Code	Class BSU.code	—	X	X
Super Class	Class.its_superclass	V(※15)	V(※12)	V(※12)
Preferred Name	Property DET.domain	—	R	X
Short Name	item_name.name	—	R	X
Visible Type	item_name.Short_name	V	V(※16)	X
Applicable Type	Class BSU.added visible data type	V	V(※16)	X
Sub-class selection Property	Class.defined_types	V	V(※16)	X
Synonymous Name	class.sub_class_properties	R	R	R
Visible Property	item_name.Synonymous_names	V	V(※16)	X
Applicable Property	Class BSU.added visible property	V	V(※16)	X
Class Value assignment	Described by	V	V(※16)	X
Definition	Class.class_constant_values	—	R/V(※17)	X
Source Document of definition	Property DET.definition	R	R	R
Note	identified document.document_identifier	R	R	R
Remark	Property DET.note	R	R	R
Simplified Drawing	Property DET.remark	—	R	R
Date of Original Definition	Class.simplified_drawing	—	X	X
Date of current version	dates.date_of_original_definition	—	V	X
Date of current version	dates.date_of_current_version	—	R/V	X
Version number	dates.date_of_current_version	—	V	X
Revision number	Property BSU.version	—	R	X

※13 値は追加されるのみ

※14 Dependant_P_DETのセットの任意の要素の変更

※15 Super Classの修正により、継承されたVisible/ApplicableのProperty/Data_typeが削除されてはいけない。これが起きるときは、1)サブクラスが新しいVersionを作成したとき、または、中間クラスを挿入されたとき

※16 修正に、新たなItemの追加や、参照するItemのVersionの変更のみ

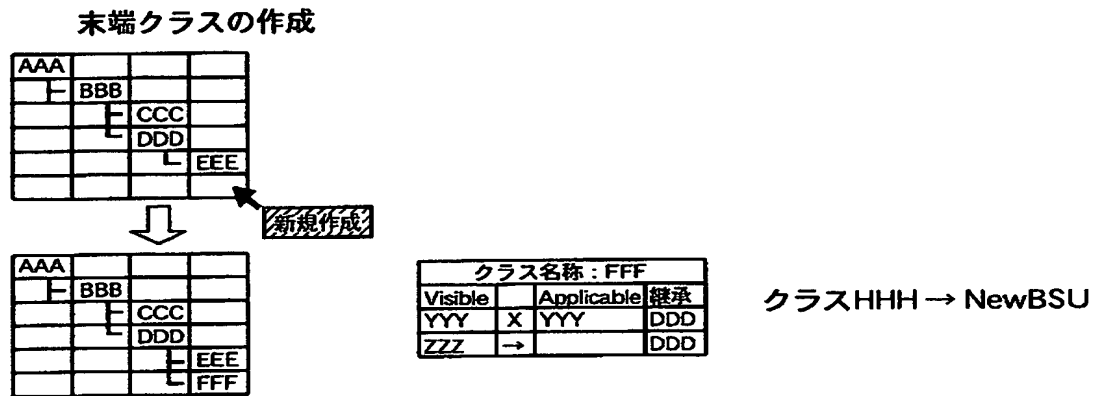
※17 Propertyの影響を与えるような定義変更は不許可。

Class V/Rの変更波及

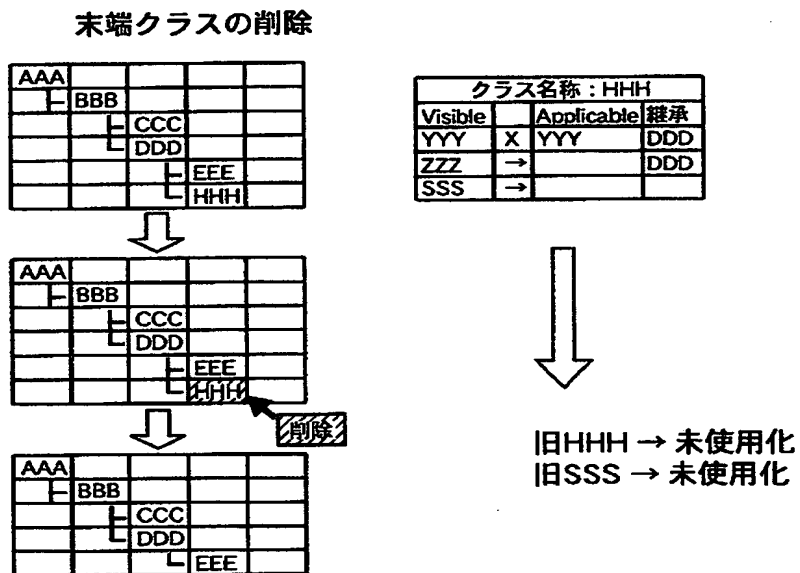
・親クラスのVersion変更→すべての子クラス(孫クラス)のVersion変更

・クラスを参照しているTableやコンテンツのVersion変更→そのクラスのVersion変更

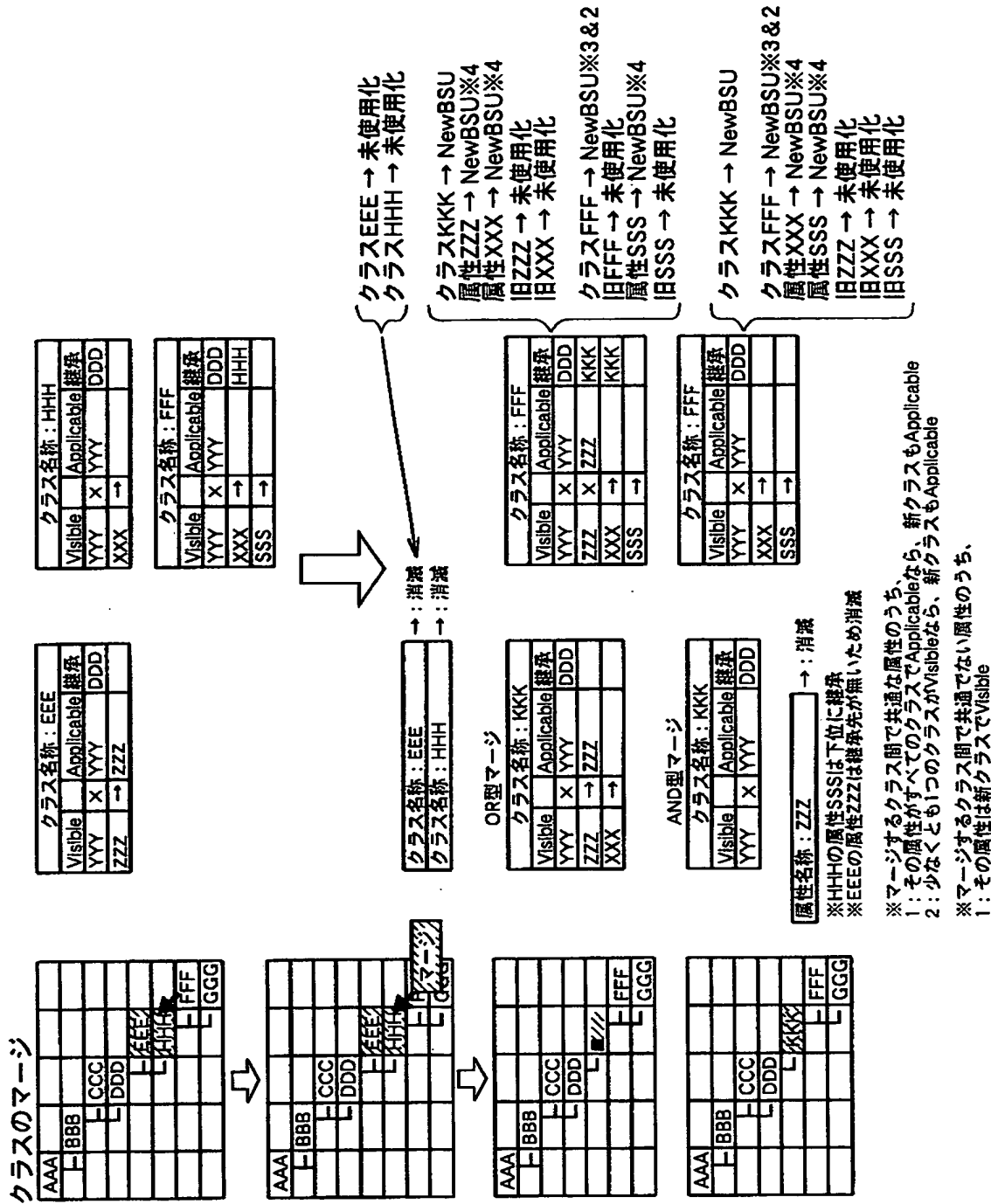
【図 2 9】



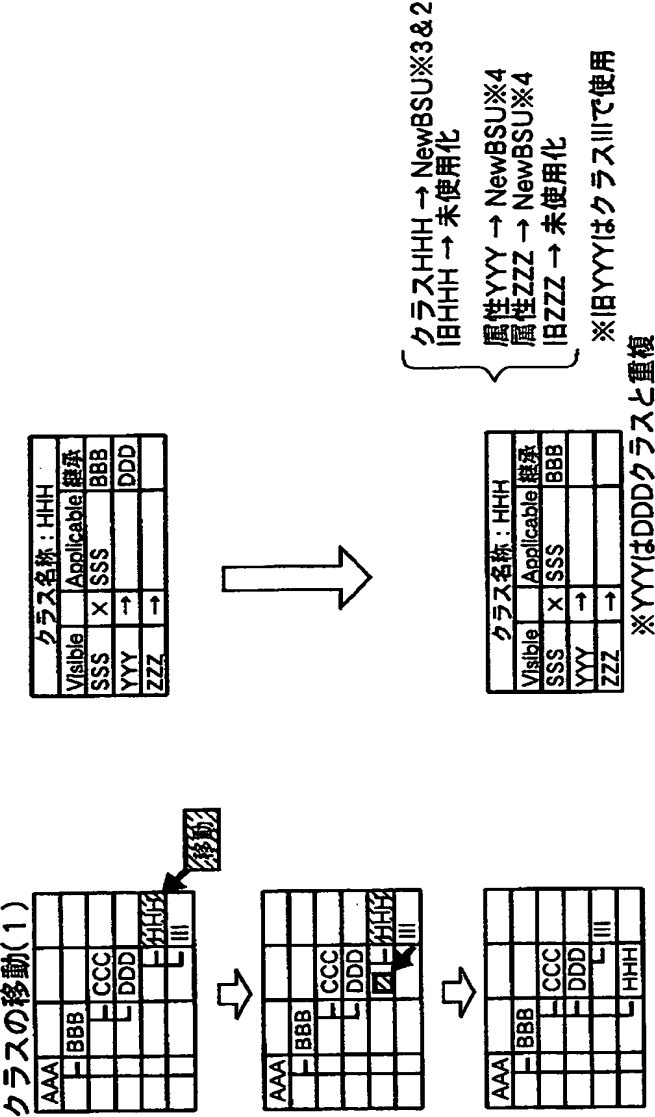
【図 3 0】



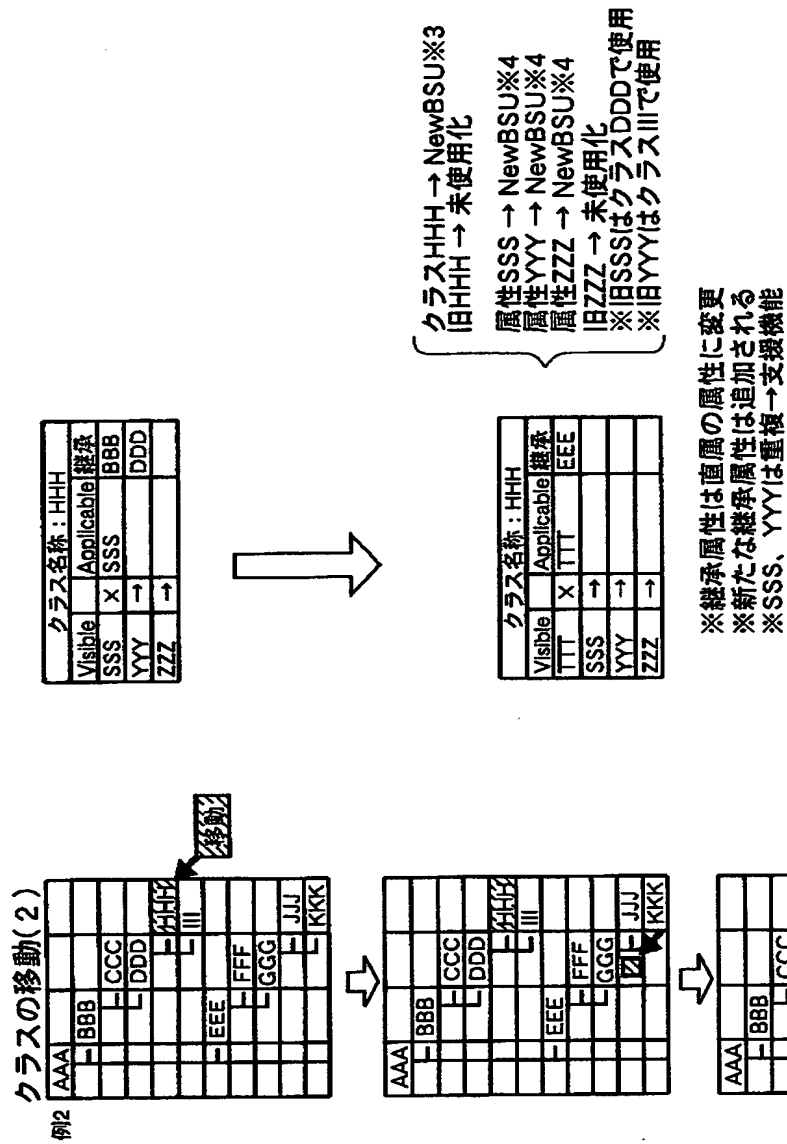
【図 3 1】



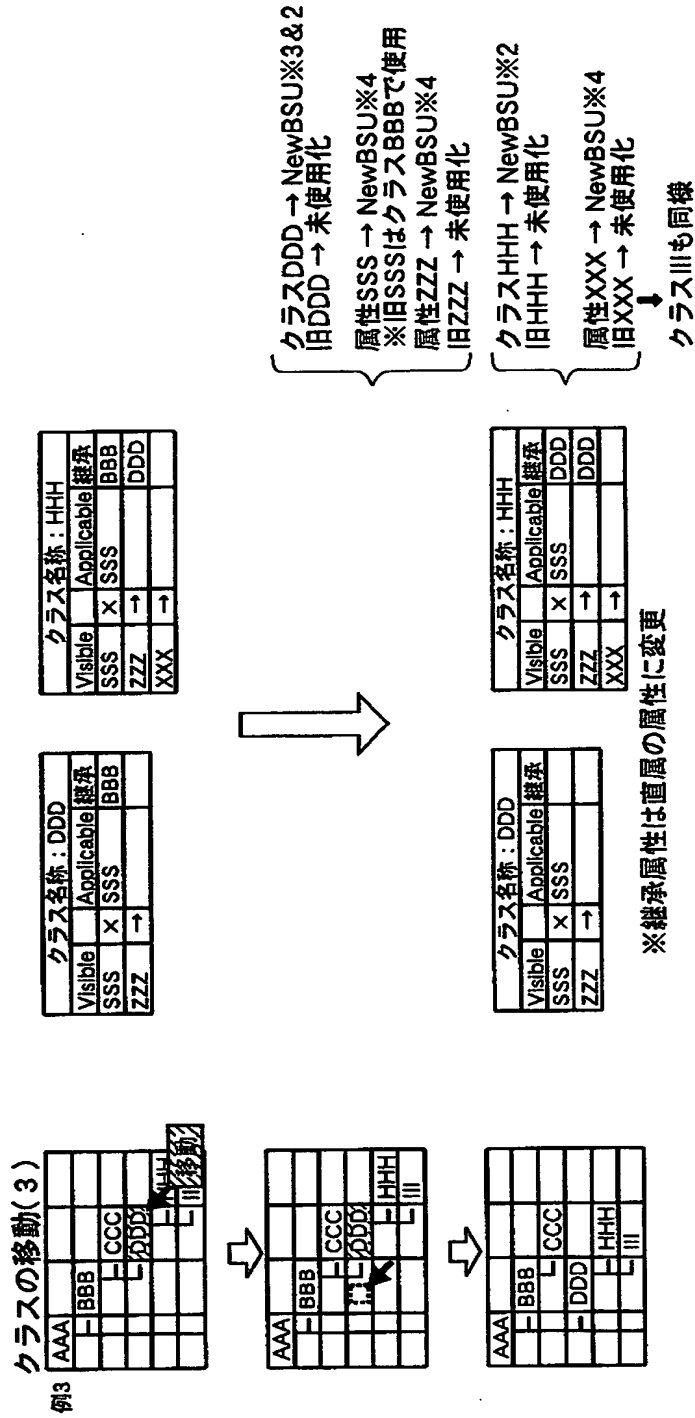
【図 3 2】



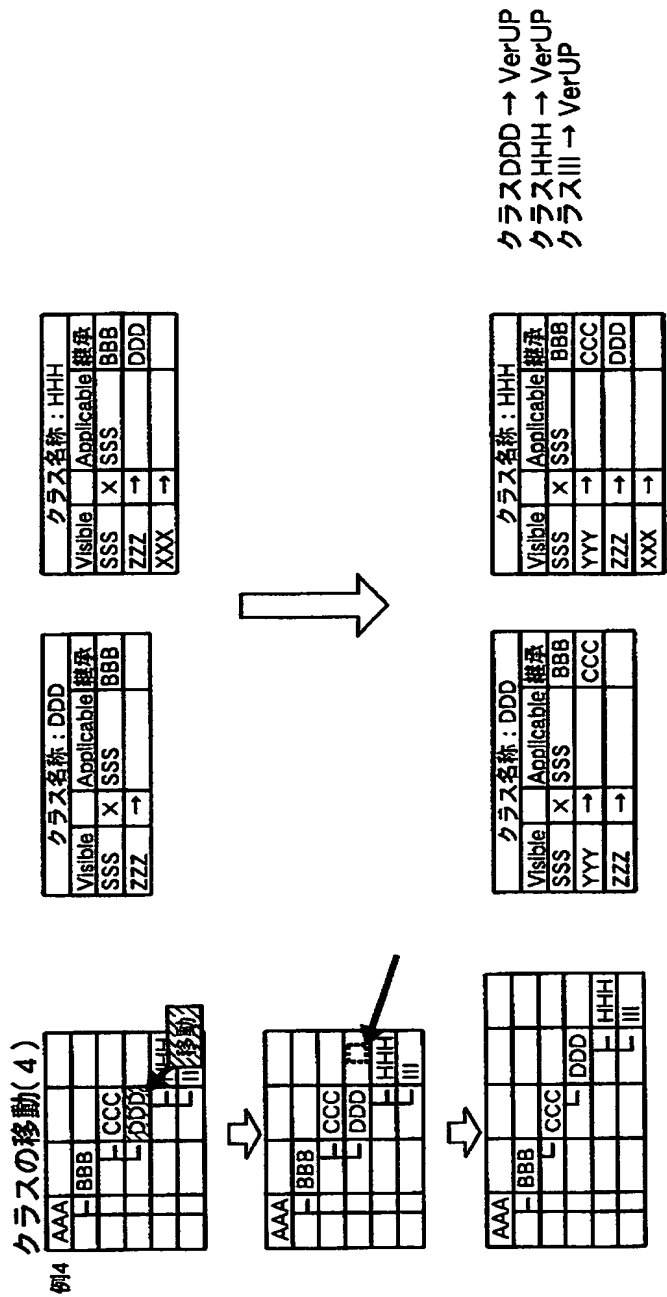
【图 3 3】



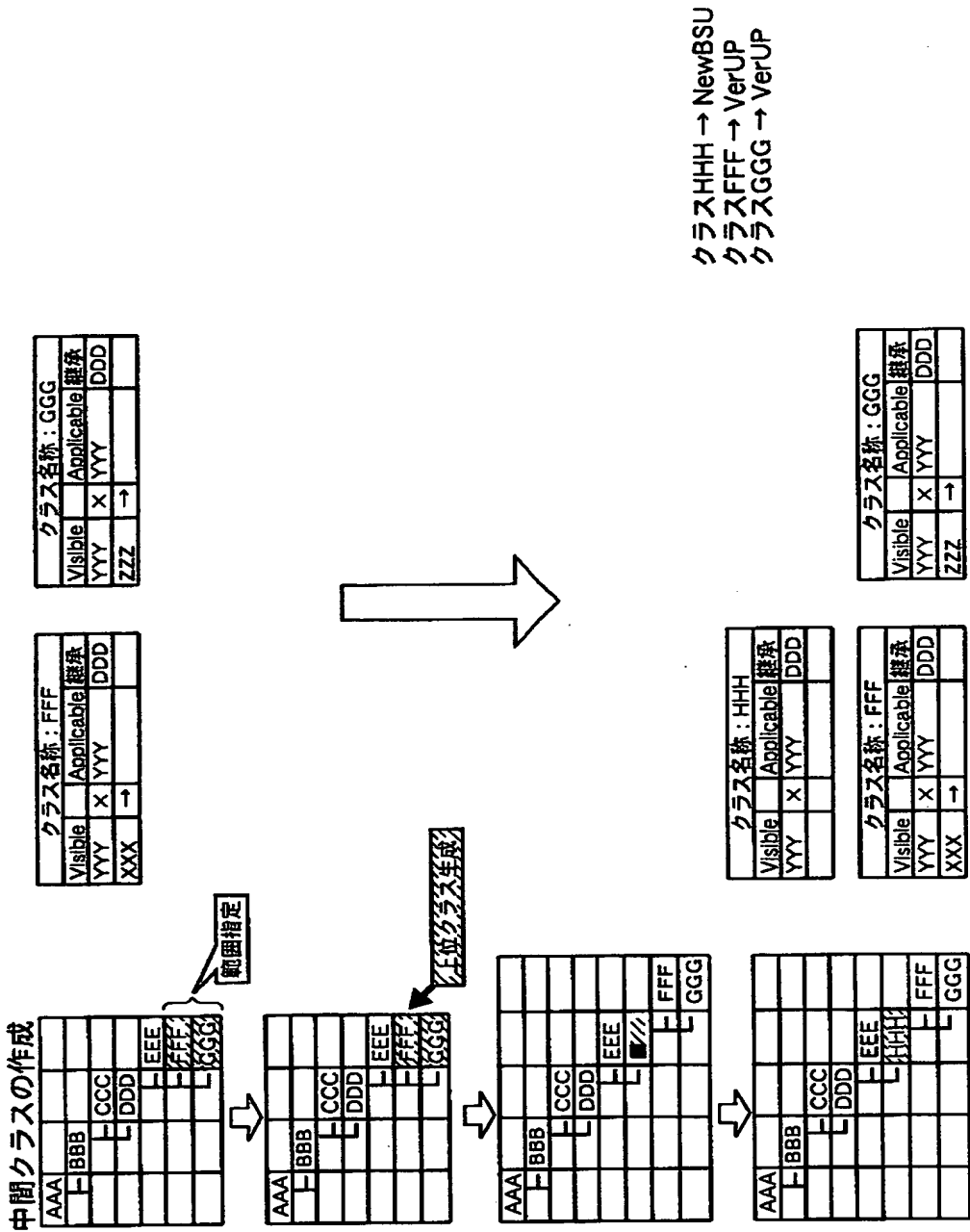
【図 3 4】



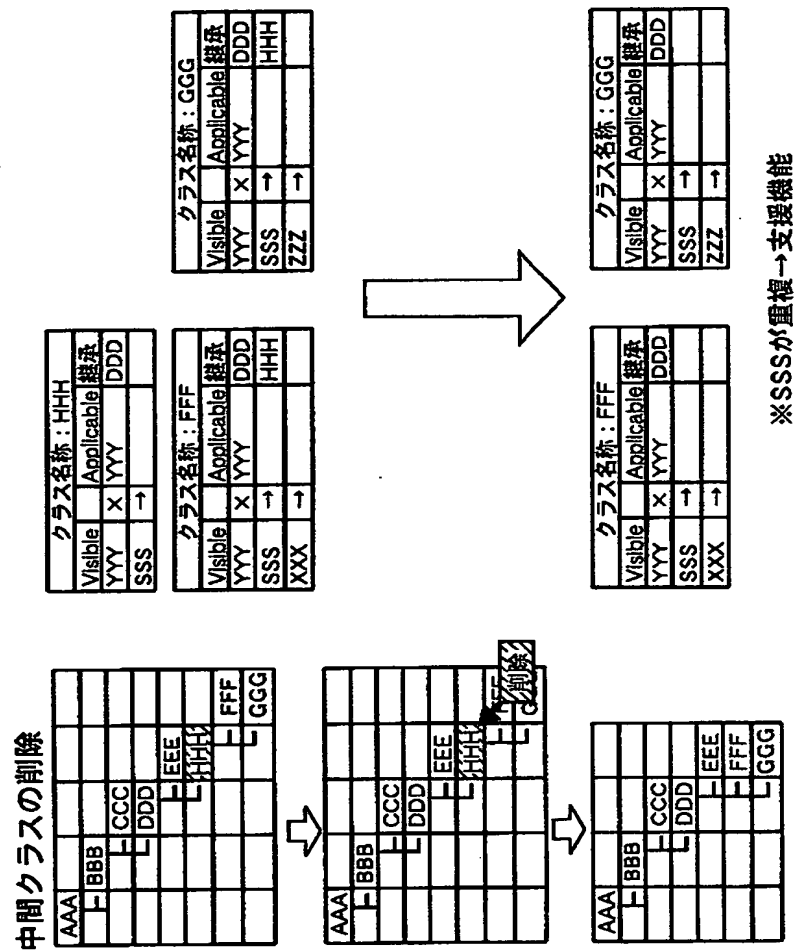
【図 3 5】



【図 3 6】



【図 3 7】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 電子カタログの変更の自由度を担保するとともに、変更された電子カタログデータを従来のシステムにおいても利用可能とし、電子カタログの有用性、汎用性を向上させる。

【解決手段】 電子カタログ保守システムは、電子カタログ辞書データ10を編集する辞書エディタ1と、電子カタログ辞書データ10に含まれる識別子であるBSUコードの変更を管理するBSUコード変更管理機能2と、電子カタログ辞書データ10の変更を検出する辞書変更状況検出機能5と、変更された電子カタログ辞書データ10の品質を検査する辞書体系品質検査機能6と、各データベースへのデータの入出力を管理する編集用DB管理部7及びマスタDB管理部8と、各データを保存する電子カタログ辞書編集用DB14、BSUコード変更管理編集用DB16、電子カタログ辞書マスタDB20及びBSUコード変更管理マスタDB22とから概略構成される。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [0 0 0 0 0 3 0 7 8]

1. 変更年月日	1 9 9 0 年 8 月 2 2 日
[変更理由]	新規登録
住 所	神奈川県川崎市幸区堀川町 7 2 番地
氏 名	株式会社東芝